

ごあいさつ

公益財団法人広島県地域保健医療推進機構の事業につきましては、日頃より格別のご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

当機構は、その前身である財団法人広島県健康福祉センターが平成2年に設立されて以来、結核、がん等の早期発見のための検診や生活習慣病の疾病予防など、県民の皆様の健康に関する各種事業の効果的、効率的な推進に努めてまいりました。

その後、平成23年7月1日に広島県、市町、広島県医師会、広島大学等で構成する全国初の組織として広島県地域保健医療推進機構に改組し、それまでの総合的な健康づくりに加えて、地域医療の確保や地域包括ケア体制の構築支援などに取り組んできたところでございます。

また、法律改正に伴い、平成25年4月1日からは公益財団法人として新たにスタートをいたしました。

今後とも、公益財団法人として当機構が果たすべき役割をより一層自覚し、県民の皆様の健康の向上に寄与するべく努力してまいります。

この事業年報は、平成27年度の当機構の事業についてとりまとめたものですが、皆様のお手元でご活用いただけることを願っております。

事業の実施にあたり、ご支援、ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げますとともに、ご高覧いただき、引き続き、ご指導等をいただければ幸いと存じます。

平成30（2018）年3月

公益財団法人広島県地域保健医療推進機構

常務理事 沖 田 清 治



次

INDEX

健診事業等実績

1	年度別受診者数の推移	1
2	特定健康診査等（地域のみ）	2
3	保健指導	4
4	結核健康診断	7
5	がん検診	10
	（1）肺がん検診	10
	（2）胃がん検診	14
	（3）子宮頸がん検診	17
	（4）乳がん検診	
	マンモグラフィ	19
	乳視触診	21
	乳腺超音波検査	22
	（5）大腸がん検診	23
	（6）前立腺がん検診	26
6	腹部超音波検査	28
7	施設健診所（広島県健康福祉センター4F）	29
	（1）施設健診	29
	（2）予防接種センター	29
8	普及啓発事業等・学会参加	30
	（1）普及啓発事業	30
	（2）学会・研究会等での研究発表及び参加者	31

精度管理

39

資料

47

・事務局組織体制	49
・職員構成	49
・役員名簿	50

健 診 事 業 等 実 績

1 年度別受診者数の推移

検 診 項 目		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
特定健康診査等	特 定 健 診 等	25,730	25,437	23,906	14,907	15,410
結核健康診断	地 域	24,017	23,755	23,540	22,895	23,105
	職 域	37,911	39,048	40,568	43,433	45,307
	学 校	18,744	19,941	20,141	18,030	20,340
肺がん検診	地 域	24,017	23,755	23,540	22,895	23,105
	職 域	217	183	162	212	192
	原 爆	115	105	112	137	159
胃がん検診	地 域	15,231	15,861	16,157	16,166	16,600
	職 域	8,483	9,031	8,993	9,024	9,778
子宮頸がん検診	地 域	11,664	11,133	11,015	10,907	11,297
	職 域	2,961	2,294	2,509	2,720	2,683
乳がん検診	地 域	11,805	10,790	11,061	10,044	10,037
	職 域	1,750	1,674	1,549	2,039	2,242
乳視触診	地 域	14,021	13,101	13,138	13,432	13,594
	職 域	2,990	2,438	2,500	2,691	2,811
乳腺超音波検査	地 域	0	0	0	0	0
	職 域	1,253	960	946	823	840
大腸がん検診	地 域	24,439	23,766	23,260	22,216	22,277
	職 域	9,645	9,608	9,352	9,261	10,031
前立腺がん検診	地 域	7,470	7,413	7,204	6,913	7,057
	職 域	1,569	1,891	1,118	801	1,112
腹部超音波検査	地 域	0	0	0	0	0
	職 域	3,130	2,986	2,994	2,903	3,054

2 特定健康診査等（地域のみ）

市町住民健診において、特定健診等 25,730 名実施した。

特定健康診査等項目

健診項目

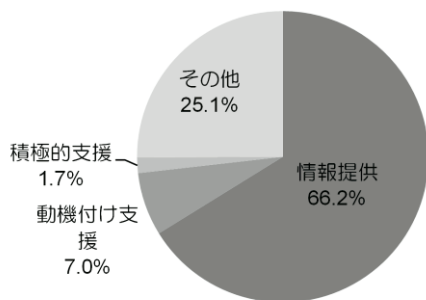
- 1 質問項目（服薬歴、喫煙歴、生活習慣、嗜好品など）
- 2 身体計測（身長・体重・BMI・腹囲（後期高齢者、若年者健診等一部未実施））
- 3 診察（視診・触診・打診・聴診）
- 4 血圧測定
- 5 血液化学検査（中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール）
- 6 肝機能検査（AST(GOT)・ALT(GPT)・γ-GTP）
- 7 血糖検査（空腹時血糖またはHbA1c）
- 8 尿検査（尿糖・尿蛋白）

年 度	特定健診等	保健指導レベル				メタボリックシンドローム判定			
		情報提供	動機付け支援	積極的支援	その他	非該当	予備軍	該当	判定なし
平成23年度	15,410	12,990	1,896	524	0	10,860	2,125	2,425	0
平成24年度	14,907	12,754	1,707	446	0	10,734	1,848	2,325	0
平成25年度	23,906	15,411	1,718	510	6,267	14,015	1,980	2,572	5,339
平成26年度	25,437	16,651	1,856	484	6,446	15,319	1,994	2,607	5,517
平成27年度	25,730	17,028	1,807	441	6,454	15,669	2,042	2,504	5,515

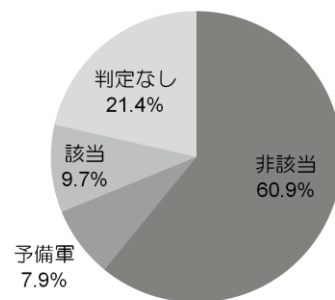
※平成23、24年度においては市町国民健康保険 特定健診対象者のみ

平成25～27年度においては国民健康保険、社会保険、後期高齢者保険、若年者を含む健康診査全て

保健指導レベル内訳



メタボリックシンドローム判定内訳



(1) 特定健康診査等

性別	年齢階級	総数					保健指導レベル				メタボリックシンドローム判定			
			市町国保	社保等	高齢者	その他	情報提供	支援機 づけ	積極的 支援	その他	非該当	予備軍	該当	判定なし
	総数	25,730	15,796	3,266	5,577	1,091	17,028	1,807	441	6,454	15,669	2,042	2,504	5,515
男性	計	9,432	6,426	186	2,565	255	5,372	1,004	319	2,737	4,142	1,283	1,639	2,368
	39歳以下	171		2		169				171	109	11	9	42
	40～44歳	250	242	7		1	181	28	41		176	48	26	
	45～49歳	232	224	7		1	155	22	55		143	44	45	
	50～54歳	244	235	6		3	167	23	54		142	46	56	
	55～59歳	326	296	20		10	240	29	57		188	58	80	
	60～64歳	803	724	67		12	616	75	112		458	142	203	
	65～69歳	2,421	2,313	64	34	10	1,960	427		34	1,349	446	592	34
	70～74歳	2,222	2,141	10	23	48	1,844	355		23	1,273	405	523	21
	75～79歳	1,549	251	3	1,295		209	45		1,295	224	59	79	1,187
80歳以上	1,214			1,213	1				1,214	80	24	26	1,084	
女性	計	16,298	9,370	3,080	3,012	836	11,656	803	122	3,717	11,527	759	865	3,147
	39歳以下	686		1		685				686	279	14	6	387
	40～44歳	956	300	640		16	892	38	18	8	898	35	15	8
	45～49歳	654	248	400		6	598	41	13	2	598	38	16	2
	50～54歳	681	278	397		6	620	41	20		623	26	32	
	55～59歳	914	473	432		9	838	51	25		818	52	44	
	60～64歳	1,991	1,439	539		13	1,818	127	46		1,779	111	101	
	65～69歳	3,905	3,386	462	43	14	3,578	283		44	3,350	240	275	40
	70～74歳	3,234	2,915	192	51	76	2,978	205		51	2,667	203	317	47
	75～79歳	1,993	331	17	1,638	7	334	17		1,642	400	33	45	1,515
80歳以上	1,284			1,280	4				1,284	115	7	14	1,148	

性別	年齢階級	有所見者数						
		腹囲	血圧	脂質	糖代謝	肝機能	尿糖	尿蛋白
総数		5,263	12,702	16,491	12,059	6,036	523	2,971
男性	計	3,301	5,485	5,931	5,027	3,498	379	1,453
	39歳以下	36	37	93	31	58		16
	40～44歳	105	75	167	68	124	3	45
	45～49歳	124	85	175	67	111	4	31
	50～54歳	128	118	184	88	118	15	33
	55～59歳	154	175	213	143	153	12	41
	60～64歳	386	475	564	416	344	37	119
	65～69歳	1,145	1,480	1,625	1,308	927	105	374
	70～74歳	1,020	1,340	1,417	1,253	736	93	340
	75～79歳	152	941	878	911	513	57	241
	80歳以上	51	759	615	742	414	53	213
女性	計	1,962	7,217	10,560	7,032	2,538	144	1,518
	39歳以下	37	72	248	94	61	12	82
	40～44歳	89	135	405	149	81	4	116
	45～49歳	83	150	348	124	71	1	85
	50～54歳	89	206	461	170	96	7	55
	55～59歳	120	324	697	329	167	4	53
	60～64歳	256	798	1,469	867	338	9	160
	65～69歳	605	1,922	2,801	1,850	644	28	312
	70～74歳	574	1,695	2,168	1,653	513	37	284
	75～79歳	88	1,120	1,235	1,075	328	27	203
	80歳以上	21	795	728	721	239	15	168

3 保健指導

巡回（国保・社保）、施設（国保・社保）において、動機付け支援は 223 名、積極的支援は 102 名実施した。内、脱落することなく支援を終了した対象者は、動機付け支援は 219 名、積極的支援は 100 名だった。

保健指導実施区分			平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
巡回市町国保	動機付け支援	対象者数	574	600	585	564	612
		初回実施数	184	184	235	192	149
		脱落数	3	1	11	4	1
		支援終了数	181	183	224	188	148
	積極的支援	対象者数	174	135	154	139	133
		初回実施数	36	33	39	27	21
		脱落数	2	1	3	0	1
		支援終了数	34	32	36	27	20
巡回社保等	動機付け支援	対象者数	94	100	100	69	104
		初回実施数	28	40	40	24	35
		脱落数	1	0	0	0	0
		支援終了数	27	40	40	24	35
	積極的支援	対象者数	212	203	182	199	240
		初回実施数	56	71	33	42	100
		脱落数	0	3	0	1	2
		支援終了数	56	68	33	41	98
施設国保・社保等	動機付け支援	対象者数	※	※	※	※	※
		初回実施数	11	14	11	6	14
		脱落数	0	2	0	0	1
		支援終了数	11	12	11	6	13
	積極的支援	対象者数	※	※	※	※	※
		初回実施数	10	13	12	8	10
		脱落数	0	1	0	2	1
		支援終了数	10	12	12	6	9
合計	動機付け支援	対象者数	668	700	685	633	716
		初回実施数	223	238	286	222	198
		脱落数	4	3	11	4	2
		支援終了数	219	235	275	218	196
	積極的支援	対象者数	386	338	336	338	373
		初回実施数	102	117	84	77	131
		脱落数	2	5	3	3	4
		支援終了数	100	112	81	74	127

※他機関受診の対象者も含むため不明
（合計欄の対象者数には、当機構により健診を実施した対象者のみ記載）

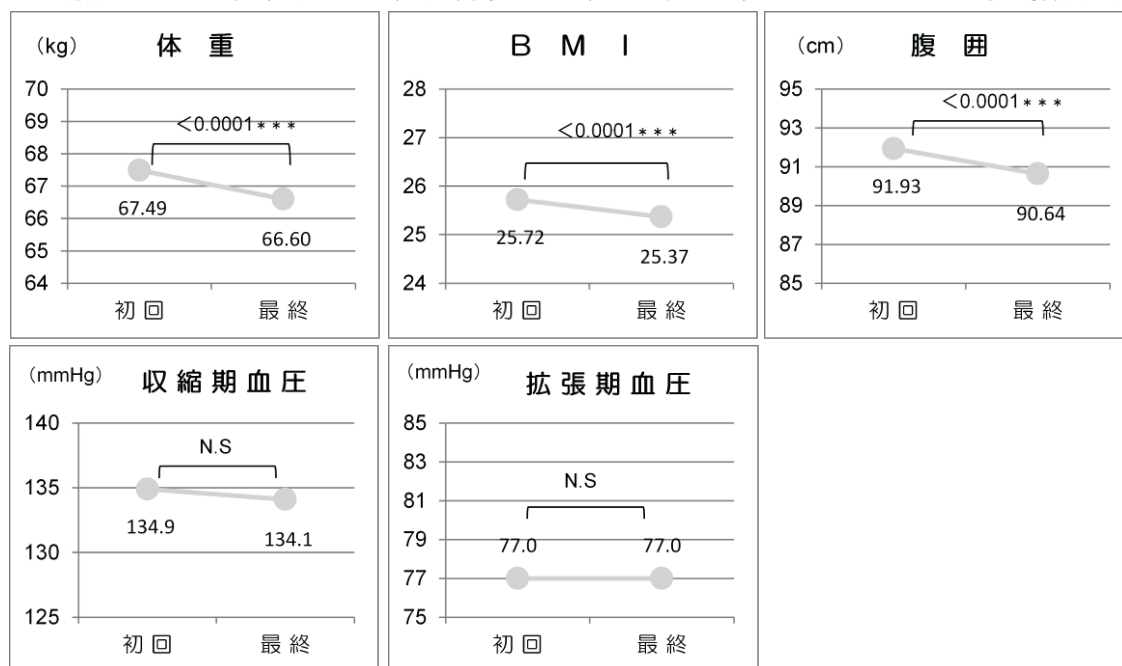
(1) 保健指導評価

※一企業健康保険組合のみ記載

検査科目	市 町 国 保					健 保 組 合				
	動機付け支援 152名 平均年齢67.0±6.4歳		積極的支援 26名 平均年齢58.5±6.8歳			動機付け支援 13名 平均年齢46.5±6.0歳		積極的支援 33名 平均年齢47.8±6.2歳		
	初 回	最 終	初 回	中 間	最 終	初 回	最 終	初 回	中 間	最 終
体 重	67.49	66.60	71.46	70.22	70.50	79.80	79.27	80.31	79.79	79.35
B M I	25.72	25.37	25.83	25.42	25.53	26.78	26.64	26.82	26.65	26.51
腹 囲	91.93	90.64	93.43	91.75	91.71	93.05	92.73	94.82	93.60	93.31
収 縮 期 血 圧	134.9	134.1	131.0	130.2	131.3	129.8	129.7	130.8	133.3	133.2
拡 張 期 血 圧	77.0	77.0	78.7	80.0	80.5	82.2	81.6	80.8	83.4	83.2

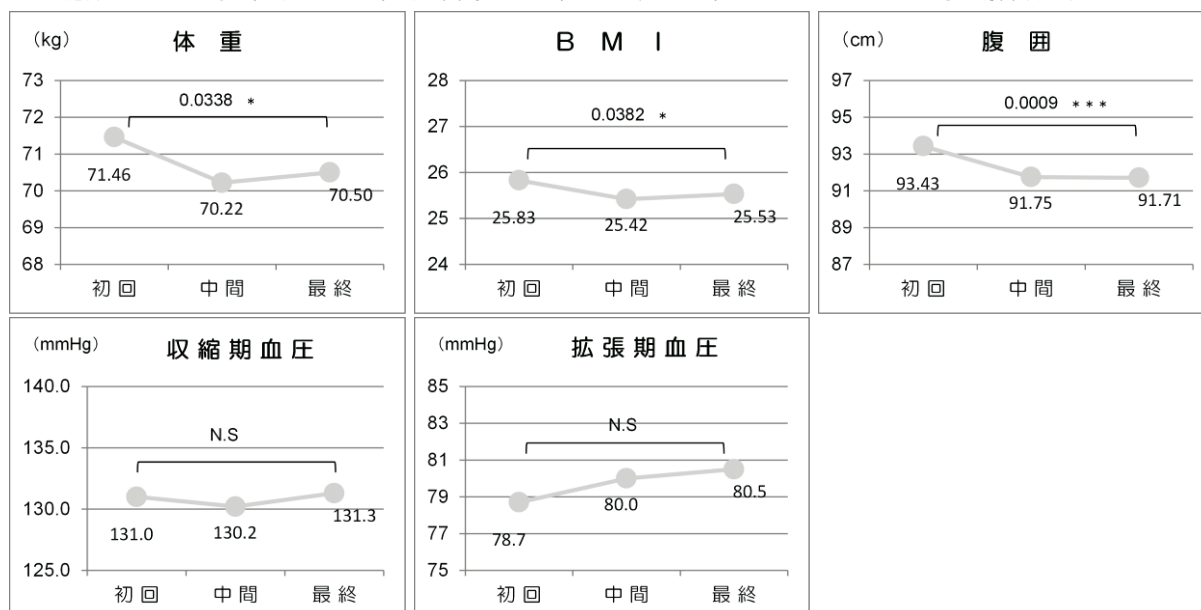
市町国保【動機付け支援】

※実施数 185 名に対し、脱落 3 名、服薬開始 21 名、その他 9 名、したがって 152 名分の解析結果



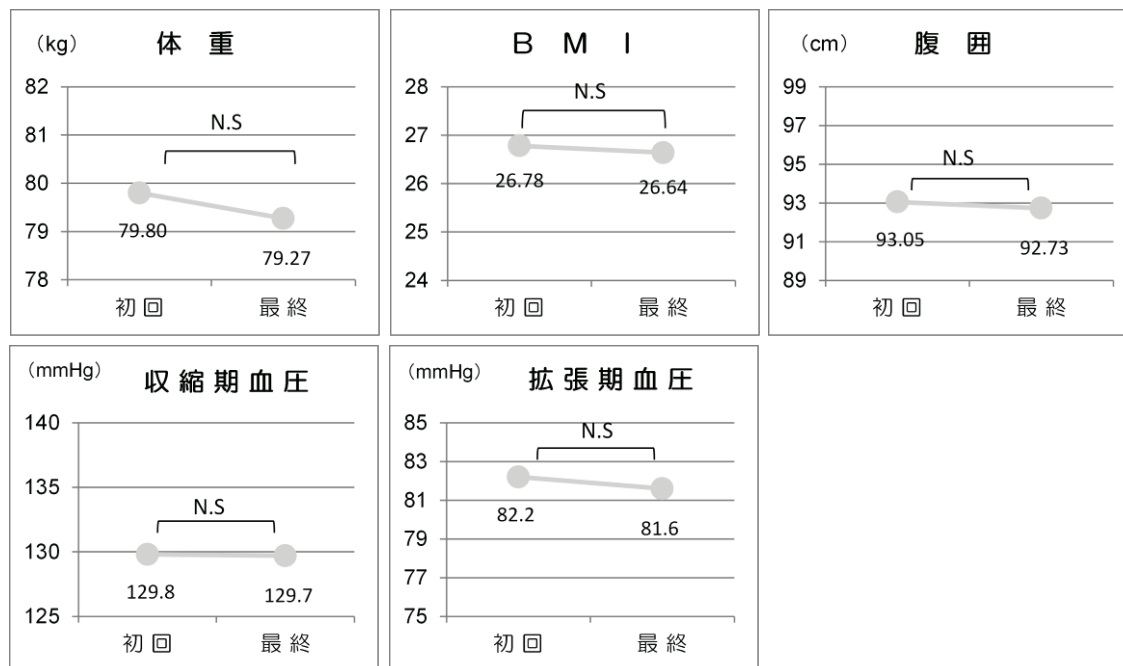
市町国保【積極的支援】

※実施数 36 名に対し、脱落 2 名、服薬開始 6 名、その他 2 名、したがって 26 名分の解析結果



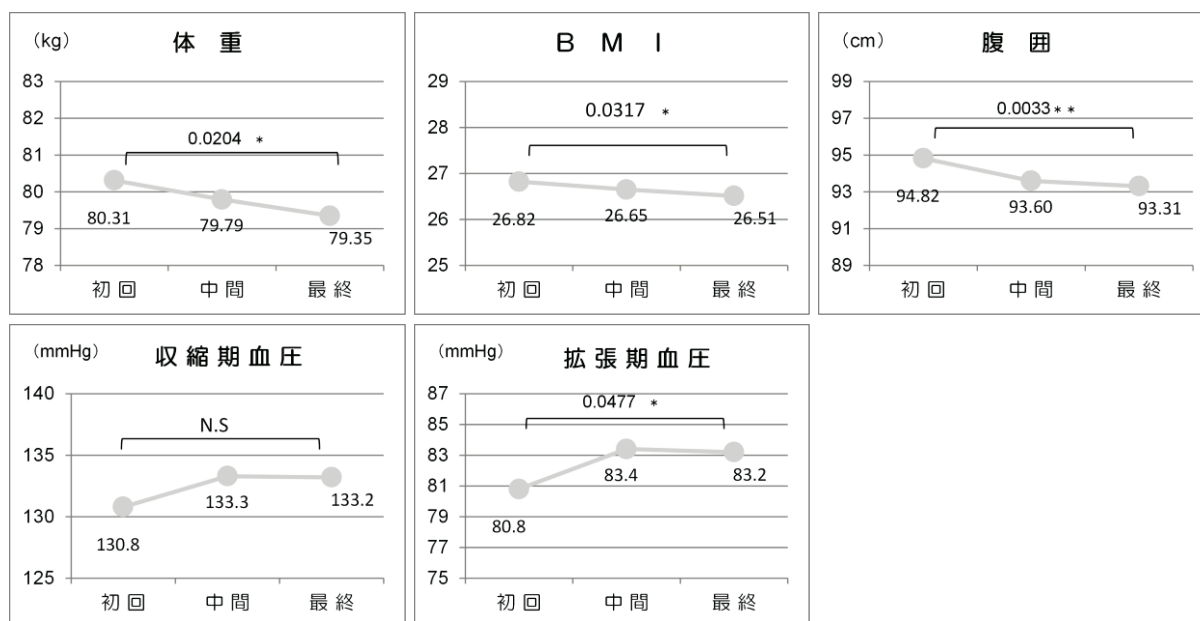
健保組合【動機付け支援】

※実施数 15 名に対し、服薬開始 2 名、したがって 13 名分の解析結果



健保組合【積極的支援】

※実施数 33 名に対し、脱落、服薬開始なし、したがって 33 名分の解析結果



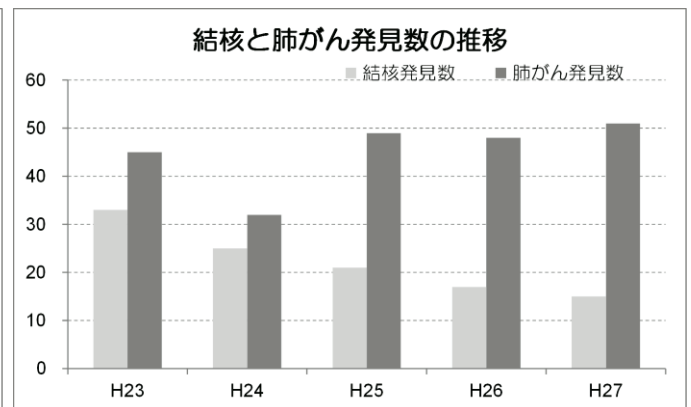
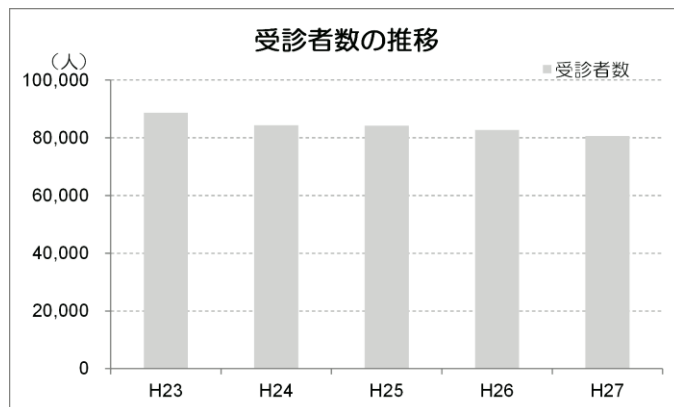
4 結核健康診断

地域、職域、学校において結核健康診断を 80,672 名実施し、15 名の結核（治癒を含む）と 51 名の肺がん（疑い含む）を発見した。

<検査項目>

胸部×線撮影・問診（既往歴・自覚症状・職歴等）

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
地 域	受診者数	24,017	23,755	23,540	22,895	23,105
	結核（治癒含む）発見数	9	10	13	15	15
	肺がん（疑い含む）発見数	35	23	38	21	20
職 域	受診者数	37,911	39,048	40,568	43,433	45,307
	結核（治癒含む）発見数	4	5	7	7	17
	肺がん（疑い含む）発見数	16	25	11	11	24
学 校	受診者数	18,744	19,941	20,141	18,030	20,340
	結核（治癒含む）発見数	2	2	1	3	1
	肺がん（疑い含む）発見数	0	0	0	0	1
合 計	受診者数	80,672	82,744	84,249	84,358	88,752
	結核（治癒含む）発見数	15	17	21	25	33
	肺がん（疑い含む）発見数	51	48	49	32	45



(1) 地 域

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	精密検査結果内訳							
							肺結核要医療	肺結核要観察	肺結核治癒	肺がん	肺がん疑い	その他疾患	異常なし	結果不明
総数		24,017	1,107	4.6	952	86.0	2	2	7	25	10	610	292	4
男性	計	9,287	530	5.7	439	82.8	2	1	4	11	7	294	119	1
	39歳以下	64												
	40～44歳	285	4	1.4	4	100.0							4	
	45～49歳	246	4	1.6	4	100.0						2	2	
	50～54歳	257	4	1.6	4	100.0						3	1	
	55～59歳	368	12	3.3	7	58.3						6	1	
	60～64歳	830	39	4.7	27	69.2				1	1	15	10	
	65～69歳	2,392	114	4.8	100	87.7	1			6	1	63	29	
	70～74歳	2,082	128	6.1	107	83.6	1		3	1	3	68	31	
	75～79歳	1,554	111	7.1	93	83.8						69	23	1
	80歳以上	1,209	114	9.4	93	81.6		1	1	3	2	68	18	
女性	計	14,730	577	3.9	513	88.9	0	1	3	14	3	316	173	3
	39歳以下	313	6	1.9	6	100.0						1	5	
	40～44歳	814	15	1.8	14	93.3						5	9	
	45～49歳	601	4	0.7	3	75.0						1	2	
	50～54歳	671	7	1.0	6	85.7						3	3	
	55～59歳	833	25	3.0	22	88.0		1	1		1	11	8	
	60～64歳	1,781	48	2.7	45	93.8						31	14	
	65～69歳	3,638	139	3.8	123	88.5			1	2		78	42	
	70～74歳	2,938	132	4.5	118	89.4			1	8	1	77	30	1
	75～79歳	1,911	128	6.7	115	89.8				1		72	40	2
	80歳以上	1,230	73	5.9	61	83.6				3	1	37	20	

(2) 職 域

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	精密検査結果内訳							
							肺結核要医療	肺結核要観察	肺結核治癒	肺がん	肺がん疑い	その他疾患	異常なし	結果不明
総数		37,911	802	2.1	419	52.2	0	0	4	5	11	267	125	7
男性	計	25,134	511	2.0	270	52.8	0	0	2	5	8	164	86	5
	39歳以下	9,909	60	0.6	31	51.7						16	15	
	40～44歳	3,231	37	1.1	21	56.8					1	9	11	
	45～49歳	2,332	51	2.2	36	70.6						22	14	
	50～54歳	2,453	51	2.1	22	43.1						11	11	
	55～59歳	2,687	70	2.6	29	41.4				1	1	16	11	
	60～64歳	2,046	91	4.4	46	50.5			1		2	28	13	2
	65～69歳	1,466	64	4.4	31	48.4				3		23	5	
	70～74歳	483	28	5.8	18	64.3						15	3	
	75～79歳	177	14	7.9	7	50.0					2	4	1	
	80歳以上	350	45	12.9	29	64.4			1	1	2	20	2	3
女性	計	12,777	291	2.3	149	51.2	0	0	2	0	3	103	39	2
	39歳以下	4,758	17	0.4	10	58.8						2	8	
	40～44歳	1,446	7	0.5	3	42.9					1	1	1	
	45～49歳	1,280	11	0.9	6	54.5						2	4	
	50～54歳	1,036	7	0.7	4	57.1						2	2	
	55～59歳	981	14	1.4	9	64.3						5	4	
	60～64歳	673	11	1.6	7	63.6						3	4	
	65～69歳	484	8	1.7	5	62.5						4		1
	70～74歳	203	9	4.4	4	44.4						2	2	
	75～79歳	222	14	6.3	9	64.3						7	2	
	80歳以上	1,694	193	11.4	92	47.7			2		2	75	12	1

(3) 学 校

性 別	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率	精 密 検 査 結 果 内 訳							
						肺 結 核 要 医 療	肺 結 核 要 観 察	肺 結 核 治 癒	肺 が ん	肺 が ん 疑 い	そ の 他 疾 患	異 常 な し	結 果 不 明
総 数	18,744	79	0.4	71	89.9	1	1	1	0	0	18	47	3
男性	8,059	35	0.4	31	88.6			1			6	24	
女性	10,685	44	0.4	40	90.9	1	1				12	23	3

5 がん検診

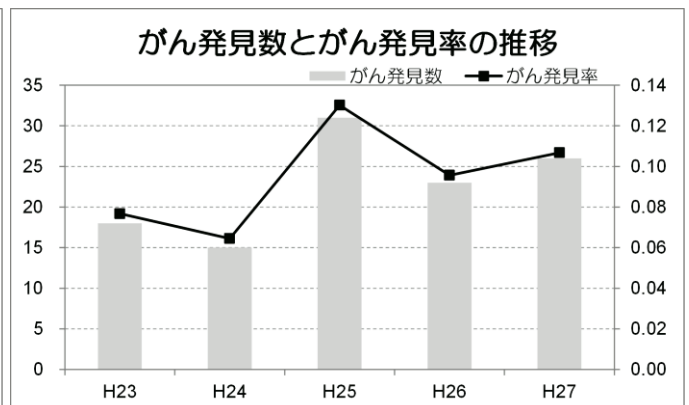
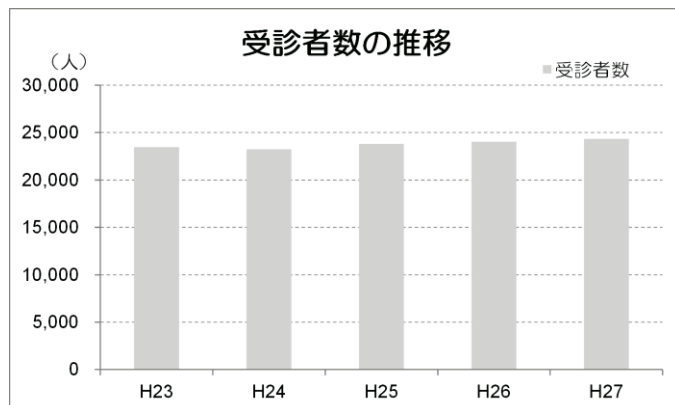
(1) 肺がん検診

地域、職域、原爆被爆者において肺がん検診を 24,017 名実施し、要精検者 649 名（要精検率 2.7%）、精検受診者 562 名（精検受診率 86.6%）、肺がん発見数 26 名（陽性反応適中度 4.01%、がん発見率 0.11%）であった。

<検査項目>

- 1 問診：既往歴・自覚症状・喫煙歴等
- 2 胸部X線撮影（二重読影・比較読影）
- 3 喀痰細胞診（対象者に対して実施）

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
地 域	受診者数	24,017	23,755	23,540	22,895	23,105
	要精検者数	639	645	718	672	607
	要精検率（%）	2.7	2.7	3.1	2.9	2.6
	精検受診者数	555	570	638	602	519
	精検受診率（%）	86.9	88.4	88.9	89.6	85.5
	肺がん発見数	25	21	31	15	18
	陽性反応適中度（%）	3.91	3.26	4.32	2.23	2.97
	がん発見率（%）	0.10	0.09	0.13	0.07	0.08
職 域	受診者数	217	183	162	212	192
	要精検者数	5	4	5	13	6
	要精検率（%）	2.3	2.2	3.1	6.1	3.1
	精検受診者数	2	3	4	10	5
	精検受診率（%）	40.0	75.0	80.0	76.9	83.3
	肺がん発見数	0	1	0	0	0
	陽性反応適中度（%）	0.00	25.00	0.00	0.00	0.00
	がん発見率（%）	0.00	0.55	0.00	0.00	0.00
原 爆	受診者数	115	105	112	137	159
	要精検者数	5	6	4	-	-
	要精検率（%）	4.3	5.7	3.6	-	-
	精検受診者数	5	5	3	-	-
	精検受診率（%）	100.0	83.3	75.0	-	-
	肺がん発見数	1	1	0	-	-
	陽性反応適中度（%）	20.00	16.67	0.00	-	-
	がん発見率（%）	0.87	0.95	0.00	-	-
合 計	受診者数	24,349	24,043	23,814	23,244	23,456
	要精検者数	649	655	727	685	613
	要精検率（%）	2.7	2.7	3.1	2.9	2.6
	精検受診者数	562	578	645	612	524
	精検受診率（%）	86.6	88.2	88.7	89.3	85.5
	肺がん発見数	26	23	31	15	18
	陽性反応適中度（%）	4.01	3.51	4.26	2.19	2.94
	がん発見率（%）	0.11	0.10	0.13	0.06	0.08



1) 地 域

①肺がん検診結果

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	精密検査結果内訳						陽性反応適中度	がん発見率	がん臨床病期Ⅰ期割合	
							肺がん	Ⅰ期床が病人	肺がん疑い	がん以外の 他悪性腫瘍	異常なし	未確定				
総数		24,017	639	2.7	555	86.9	17	12	8	323	3	200	4	3.91	0.10	70.6
男性	計	9,287	273	2.9	233	85.3	6	4	5	139	2	80	1	4.03	0.12	66.7
	39歳以下	64														
	40～44歳	285	3	1.1	3	100.0						3				
	45～49歳	246	2	0.8	2	100.0				1		1				
	50～54歳	257	1	0.4	1	100.0				1						
	55～59歳	368	4	1.1	3	75.0				2		1				
	60～64歳	830	24	2.9	17	70.8				11		6				
	65～69歳	2,392	67	2.8	62	92.5	5	3	1	33	2	21		8.96	0.25	60.0
	70～74歳	2,082	73	3.5	62	84.9			3	37		22		4.11	0.14	
	75～79歳	1,554	58	3.7	47	81.0				30		16	1			
80歳以上	1,209	41	3.4	36	87.8	1	1	1	24		10		4.88	0.17	100.0	
女性	計	14,730	366	2.5	322	88.0	11	8	3	184	1	120	3	3.83	0.10	72.7
	39歳以下	313	5	1.6	5	100.0						5				
	40～44歳	814	10	1.2	9	90.0				3		6				
	45～49歳	601	1	0.2	1	100.0						1				
	50～54歳	671	3	0.4	3	100.0				1		2				
	55～59歳	833	19	2.3	16	84.2			1	8		7		5.26	0.12	
	60～64歳	1,781	30	1.7	27	90.0				20		7				
	65～69歳	3,638	83	2.3	73	88.0	2	1		48	1	22		2.41	0.05	50.0
	70～74歳	2,938	83	2.8	72	86.7	6	5	1	43		21	1	8.43	0.24	83.3
	75～79歳	1,911	83	4.3	74	89.2	1			39		32	2	1.20	0.05	
80歳以上	1,230	49	4.0	42	85.7	2	2	1	22		17		6.12	0.24	100.0	

②胸部X線判定結果

年齢階級	受診者数			X 線 判 定							
				B		C		D		E	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
計	24,017	9,287	14,730	7,069	11,979	1,689	2,174	256	211	273	366
39歳以下	377	64	313	64	296		11		1		5
40～44歳	1,099	285	814	266	754	15	45	1	5	3	10
45～49歳	847	246	601	230	560	12	37	2	3	2	1
50～54歳	928	257	671	231	607	22	57	3	4	1	3
55～59歳	1,201	368	833	327	721	29	87	8	6	4	19
60～64歳	2,611	830	1,781	690	1,502	101	231	15	18	24	30
65～69歳	6,030	2,392	3,638	1,929	2,941	349	558	47	56	67	83
70～74歳	5,020	2,082	2,938	1,536	2,358	418	448	55	49	73	83
75～79歳	3,465	1,554	1,911	1,086	1,425	368	387	48	33	52	66
80歳以上	2,439	1,209	1,230	710	815	375	313	77	36	47	66

B…異常所見を認めない

C…異常所見を認めるが、
精査を必要としないD…異常所見を認め、
肺がん以外の疾患で
治療を要する状態が
考えられる

E…肺がんの疑い

③喀痰細胞診判定結果

年齢階級	受診者数			喀 痰 細 胞 診 判 定									
				A		B		C		D		E	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
計	174	156	18	8	1	148	17	0	0	0	0	0	0
39歳以下													
40～44歳	4	3	1			3	1						
45～49歳	4	3	1			3	1						
50～54歳	3	2	1			2	1						
55～59歳	12	7	5	2		5	5						
60～64歳	23	21	2			21	2						
65～69歳	55	52	3	3		49	3						
70～74歳	31	28	3		1	28	2						
75～79歳	23	22	1	3		19	1						
80歳以上	19	18	1			18	1						

A…材料不適、再検査

B…現在異常を認めない

C…程度に応じて6ヵ月の
再検査と追跡

D…ただちに精密検査

E…ただちに精密検査

2) 職 域

①肺がん検診結果

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	精密検査結果内訳						陽性反応適中度	がん発見率	がん病期Ⅰ期割合	
							肺がん	Ⅰ期がん病期	肺がん疑い	がん以外の疾患	他悪性腫瘍	異常なし				未確定
総数		217	5	2.3	2	40.0	0	0	0	0	0	2	0	0.00	0.00	0.0
男性	計	149	3	2.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
	39歳以下	5														
	40～44歳	41	1	2.4												
	45～49歳	31														
	50～54歳	31														
	55～59歳	20	2	10.0												
	60～64歳	12														
	65～69歳	5														
	70～74歳	3														
	75～79歳	1														
女性	計	68	2	2.9	2	100.0	0	0	0	0	0	2	0	0.00	0.00	0.0
	39歳以下	4														
	40～44歳	21														
	45～49歳	15	1	6.7	1	100.0						1				
	50～54歳	4														
	55～59歳	8														
	60～64歳	6														
	65～69歳	8														
	70～74歳	2	1	50.0	1	100.0						1				
	75～79歳															
80歳以上																

②胸部X線判定結果

年齢階級	受診者数			X線判定							
				B		C		D		E	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
計	217	149	68	113	50	31	16	2	0	3	2
39歳以下	9	5	4	4	3	1	1				
40～44歳	62	41	21	33	19	7	2			1	
45～49歳	46	31	15	24	12	7	2				1
50～54歳	35	31	4	23	1	8	3				
55～59歳	28	20	8	15	6	2	2	1		2	
60～64歳	18	12	6	10	4	2	2				
65～69歳	13	5	8	2	5	3	3				
70～74歳	5	3	2	1		1	1	1			1
75～79歳	1	1		1							
80歳以上											

B…異常所見を認めない
 C…異常所見を認めるが、
 精査を必要としない
 D…異常所見を認め、
 肺がん以外の疾患で
 治療を要する状態が
 考えられる
 E…肺がんの疑い

③喀痰細胞診判定結果

年齢階級	受診者数			喀痰細胞診判定									
				A		B		C		D		E	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
計	21	21	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0
39歳以下	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
40～44歳	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
45～49歳	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
50～54歳	6	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0
55～59歳	6	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

A…材料不適、再検査
 B…現在異常を認めない
 C…程度に応じて6ヵ月の
 再検査と追跡
 D…ただちに精密検査
 E…ただちに精密検査

3) 原 爆

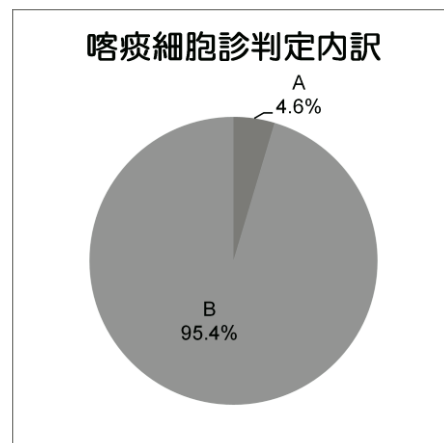
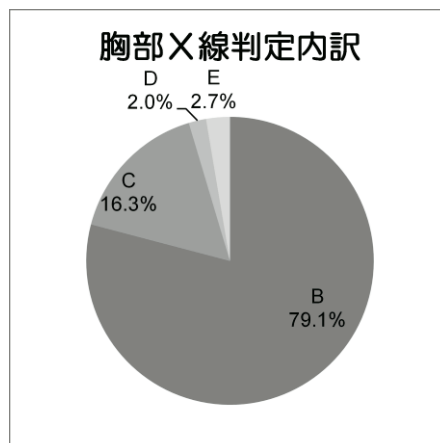
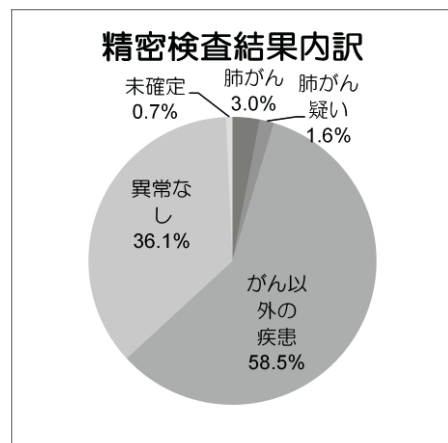
①肺がん検診結果

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	精密検査結果内訳							陽性反応適中度	がん発見率	がん病期Ⅰ期割合
							肺がん	Ⅰ臨床期がん	肺がん疑い	がん以外の疾患	他悪性腫瘍	異常なし	未確定			
	総数	115	5	4.3	5	100.0	0	0	1	4	0	0	0	20.00	0.87	0.0
男性	計	56	3	5.4	3	100.0	0	0	1	2	0	0	0	33.33	1.79	0.0
	65～69歳															
	70～74歳	26	1	3.8	1	100.0				1						
	75～79歳	12	1	8.3	1	100.0			1					100.00	8.33	
	80歳以上	18	1	5.6	1	100.0				1						
女性	計	59	2	3.4	2	100.0	0	0	0	2	0	0	0	0.00	0.00	0.0
	65～69歳															
	70～74歳	28	1	3.6	1	100.0				1						
	75～79歳	10														
	80歳以上	21	1	4.8	1	100.0				1						

②胸部X線判定結果

年齢階級	受診者数			X線判定							
				B		C		D		E	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
計	115	56	59	21	24	27	31	5	2	3	2
65～69歳											
70～74歳	54	26	28	14	12	11	14		1	1	1
75～79歳	22	12	10	5	4	6	6			1	
80歳以上	39	18	21	2	8	10	11	5	1	1	1

- B…異常所見を認めない
 C…異常所見を認めるが、精査を必要としない
 D…異常所見を認め、肺がん以外の疾患で治療を要する状態が考えられる
 E…肺がんの疑い



(2) 胃がん検診

地域、職域において胃がん検診を 23,714 名実施し、要精検者 1,332 名（要精検率 5.6%）、精検受診者 1,074 名（精検受診率 80.6%）、胃がん発見数 34 名（陽性反応適中度 2.55%、がん発見率 0.14%）であった。

5

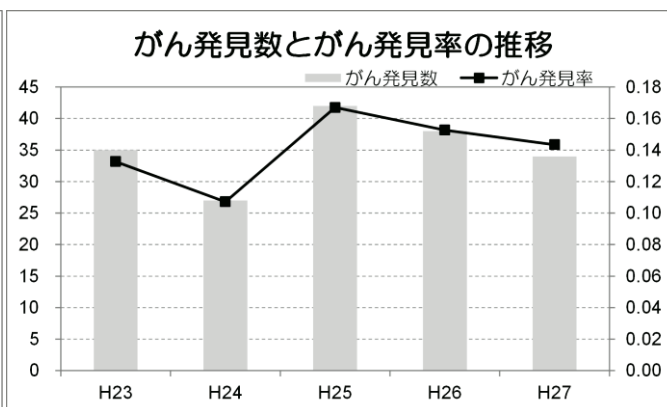
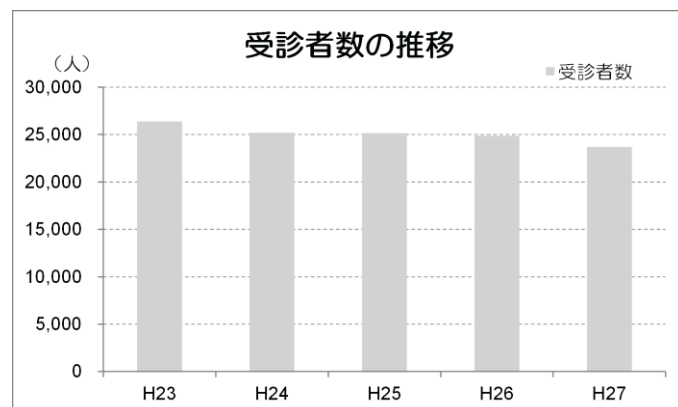
がん検診

(2) 胃がん検診

<検査項目>

- 1 問診：既往歴・自覚症状等
- 2 胃部X線検査（8枚・二重読影）

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
地 域	受診者数	15,231	15,861	16,157	16,166	16,600
	要精検者数	936	822	1,087	1,112	1,036
	要精検率（%）	6.1	5.2	6.7	6.9	6.2
	精検受診者数	815	721	918	913	895
	精検受診率（%）	87.1	87.7	84.5	82.1	86.4
	胃がん発見数	29	36	39	23	31
	陽性反応適中度（%）	3.10	4.38	3.59	2.07	2.99
	がん発見率（%）	0.19	0.23	0.24	0.14	0.19
職 域	受診者数	8,483	9,031	8,993	9,024	9,778
	要精検者数	396	349	404	514	591
	要精検率（%）	4.7	3.9	4.5	5.7	6.0
	精検受診者数	259	229	226	292	292
	精検受診率（%）	65.4	65.6	55.9	56.8	49.4
	胃がん発見数	5	2	3	4	4
	陽性反応適中度（%）	1.26	0.57	0.74	0.78	0.68
	がん発見率（%）	0.06	0.02	0.03	0.04	0.04
合 計	受診者数	23,714	24,892	25,150	25,190	26,378
	要精検者数	1,332	1,171	1,491	1,626	1,627
	要精検率（%）	5.6	4.7	5.9	6.5	6.2
	精検受診者数	1,074	950	1,144	1,205	1,187
	精検受診率（%）	80.6	81.1	76.7	74.1	73.0
	胃がん発見数	34	38	42	27	35
	陽性反応適中度（%）	2.55	3.25	2.82	1.66	2.15
	がん発見率（%）	0.14	0.15	0.17	0.11	0.13



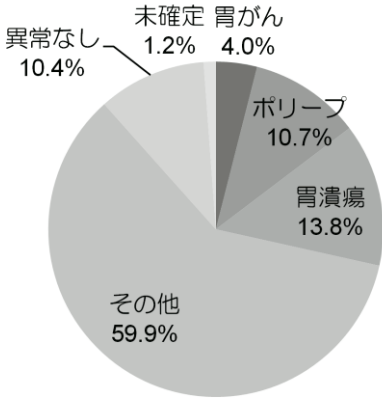
1) 地 域

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	精密検査結果内訳								陽性反応適中度	がん発見率	早期がん割合	粘膜内がん割合	
							胃がん	早期がん		胃がん疑い	がん以外の	ポリプ	(瘢痕含む)胃潰瘍	異常なし					未確定
								が	粘膜内										
総数		15,231	936	6.1	815	87.1	29	23	15	0	695	102	92	84	7	3.10	0.19	79.3	51.7
男性	計	6,499	535	8.2	461	86.2	22	17	13	0	389	51	65	44	6	4.11	0.34	77.3	59.1
	39歳以下	46	1	2.2															
	40～44歳	242	9	3.7	8	88.9					6		2	2					
	45～49歳	200	10	5.0	10	100.0					8		1	2					
	50～54歳	212	9	4.2	6	66.7	1				4		1	1		11.11	0.47		
	55～59歳	305	25	8.2	21	84.0					17	3	2	4					
	60～64歳	661	46	7.0	38	82.6					35	6	7	3					
	65～69歳	1,737	181	10.4	157	86.7	8	8	4		132	11	27	13	4	4.42	0.46	100.0	50.0
	70～74歳	1,401	116	8.3	102	87.9	5	2	2		89	13	12	7	1	4.31	0.36	40.0	40.0
	75～79歳	1,021	85	8.3	72	84.7	4	3	3		61	11	10	6	1	4.71	0.39	75.0	75.0
80歳以上	674	53	7.9	47	88.7	4	4	4		37	7	3	6		7.55	0.59	100.0	100.0	
女性	計	8,732	401	4.6	354	88.3	7	6	2	0	306	51	27	40	1	1.75	0.08	85.7	28.6
	39歳以下	67																	
	40～44歳	628	24	3.8	21	87.5					17	7		4					
	45～49歳	479	18	3.8	15	83.3					15	5							
	50～54歳	492	19	3.9	17	89.5					14	2	2	3					
	55～59歳	609	26	4.3	24	92.3					21	3	2	3					
	60～64歳	1,170	52	4.4	43	82.7	1	1			35	2	3	6	1	1.92	0.09	100.0	
	65～69歳	2,118	121	5.7	109	90.1	4	3	1		94	13	5	11		3.31	0.19	75.0	25.0
	70～74歳	1,618	74	4.6	67	90.5	2	2	1		56	11	7	9		2.70	0.12	100.0	50.0
	75～79歳	1,019	45	4.4	39	86.7					36	4	4	3					
80歳以上	532	22	4.1	19	86.4					18	4	4	1						

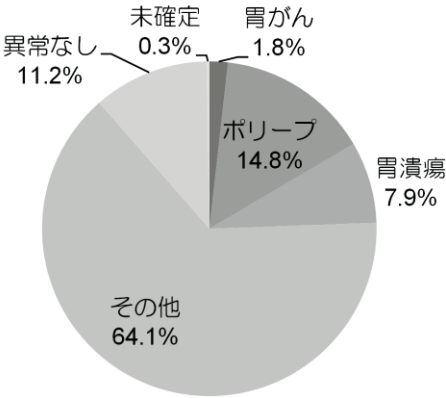
2) 職 域

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	精密検査結果内訳								陽性反応適中度	がん発見率	早期がん割合	粘膜内がん割合	
							胃がん	早期がん		胃がん疑い	がん以外の	ポリプ	(瘢痕含む)胃潰瘍	異常なし					未確定
								が	粘膜内										
総数		8,483	396	4.7	259	65.4	5	3	0	0	221	29	33	31	2	1.26	0.06	60.0	0.0
男性	計	6,731	340	5.1	220	64.7	5	3	0	0	186	22	29	27	2	1.47	0.07	60.0	0.0
	39歳以下	1,028	37	3.6	25	67.6					21	3	3	4					
	40～44歳	1,567	37	2.4	27	73.0					20	2	3	7					
	45～49歳	1,163	49	4.2	24	49.0					20	1	3	3	1				
	50～54歳	977	59	6.0	38	64.4					33	2	2	5					
	55～59歳	788	61	7.7	34	55.7	1				31	9	5	2		1.64	0.13		
	60～64歳	704	46	6.5	30	65.2	3	2			24	2	6	2	1	6.52	0.43	66.7	
	65～69歳	420	41	9.8	33	80.5	1	1			30	2	5	2		2.44	0.24	100.0	
	70～74歳	76	9	11.8	8	88.9					6	1	2	2					
	75～79歳	8	1	12.5	1	100.0					1								
	80歳以上																		
女性	計	1,752	56	3.2	39	69.6	0	0	0	0	35	7	4	4	0	0.00	0.00	0.0	0.0
	39歳以下	257	3	1.2	1	33.3					1								
	40～44歳	379	12	3.2	8	66.7					5	1		3					
	45～49歳	350	5	1.4	3	60.0					3	2							
	50～54歳	257	6	2.3	4	66.7					3	1		1					
	55～59歳	240	9	3.8	7	77.8					7	1	2						
	60～64歳	170	14	8.2	9	64.3					9	1	1						
	65～69歳	80	7	8.8	7	100.0					7	1	1						
	70～74歳	19																	
	75～79歳																		
	80歳以上																		

精密検査結果内訳（男性）



精密検査結果内訳（女性）



(3) 子宮頸がん検診

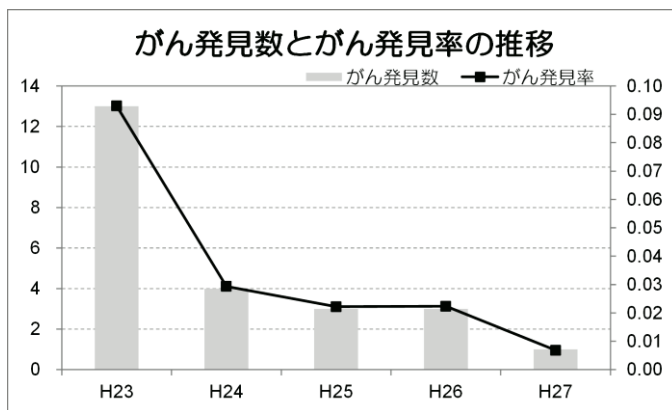
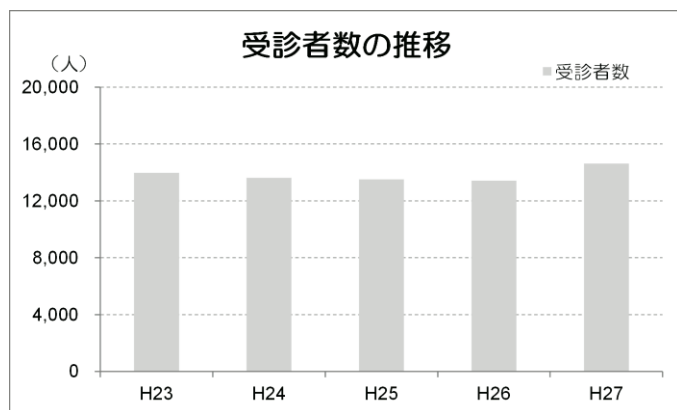
地域、職域において子宮頸がん検診を 14,625 名実施し、要精検者 204 名（要精検率 1.4%）、精検受診者 188 名（精検受診率 92.2%）、子宮頸がん発見数 4 名（陽性反応適中度 1.96%、がん発見率 0.03%）であった。

<検査項目>

- 1 問診：既往歴・自覚症状等
- 2 視診および内診
- 3 子宮頸部細胞診

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
地 域	受診者数	11,664	11,133	11,015	10,907	11,297
	要精検者数	132	179	130	100	138
	要精検率（%）	1.1	1.6	1.2	0.9	1.2
	精検受診者数	123	167	117	83	122
	精検受診率（%）	93.2	93.3	90.0	83.0	88.4
	子宮頸がん発見数	1	3	3	2	11
	陽性反応適中度（%）	0.76	1.68	2.31	2.00	7.97
	がん発見率（%）	0.01	0.03	0.03	0.02	0.10
職 域	受診者数	2,961	2,294	2,509	2,720	2,683
	要精検者数	72	73	90	70	61
	要精検率（%）	2.4	3.2	3.6	2.6	2.3
	精検受診者数	65	57	77	53	54
	精検受診率（%）	90.3	78.1	85.6	75.7	88.5
	子宮頸がん発見数	0	0	0	2	2
	陽性反応適中度（%）	0.00	0.00	0.00	2.86	3.28
	がん発見率（%）	0.00	0.00	0.00	0.07	0.07
合 計	受診者数	14,625	13,427	13,524	13,627	13,980
	要精検者数	204	252	220	170	199
	要精検率（%）	1.4	1.9	1.6	1.2	1.4
	精検受診者数	188	224	194	136	176
	精検受診率（%）	92.2	88.9	88.2	80.0	88.4
	子宮頸がん発見数	1	3	3	4	13
	陽性反応適中度（%）	0.49	1.19	1.36	2.35	6.53
	がん発見率（%）	0.01	0.02	0.02	0.03	0.09

平成24年度よりがんに上皮内がん含まず

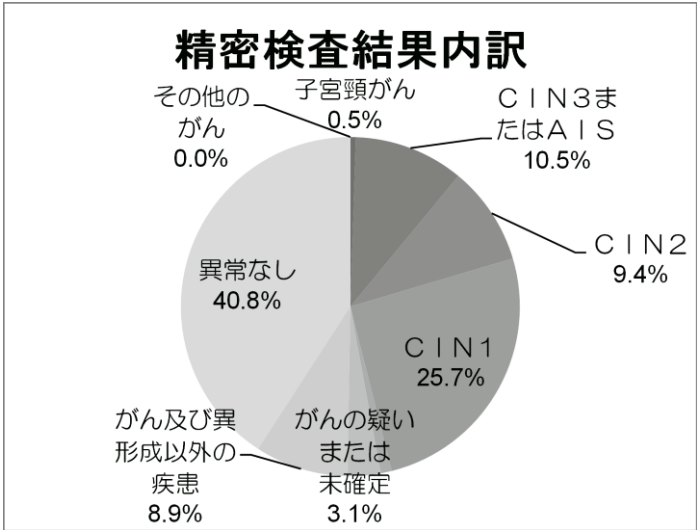


1) 地 域

年 齢 階 級	受 診 者 数	頸部細胞診判定				要 精 検 査 者 数	要 精 検 査 率	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率	精 密 検 査 結 果 内 訳										陽 性 反 応 適 中 度	が ん 発 見 率	微 小 浸 潤 が ん 割 合
		精 検 不 要	要 精 検 1	要 精 検 2	判 定 不 能					子 宮 頸 が ん	微 小 浸 潤 が ん	CIN3 または AIS	CIN2	CIN1	腺 異 形 成	が ん の 疑 い ま た は 未 確 定	が ん 及 び 異 形 成 以 外 の 疾 患	異 常 な し	そ の 他 の が ん			
総 数	11,664	11,532	132	0	0	132	1.1	123	93.2	1	0	16	11	26	1	4	8	58	0	0.76	0.01	0.00
29歳以下	77	71	6			6	7.8	6	100.0					4				2				
30～34歳	259	253	6			6	2.3	6	100.0			2	2	1				1				
35～39歳	406	401	5			5	1.2	5	100.0			4					1	1				
40～44歳	1,018	999	19			19	1.9	17	89.5			6	3	3			1	5				
45～49歳	661	649	12			12	1.8	10	83.3			1	3	2			1	3				
50～54歳	672	656	16			16	2.4	15	93.8				1	5				9				
55～59歳	863	854	9			9	1.0	9	100.0			1		5				3				
60～64歳	1,526	1,508	18			18	1.2	17	94.4			1		1	1	3	2	9				
65～69歳	2,614	2,596	18			18	0.7	17	94.4				1	3			2	11				
70～74歳	1,928	1,916	12			12	0.6	11	91.7	1				2				8		8.33	0.05	
75～79歳	1,091	1,083	8			8	0.7	8	100.0				1			1	1	5				
80歳以上	549	546	3			3	0.5	2	66.7			1						1				

2) 職 域

年 齢 階 級	受 診 者 数	頸部細胞診判定				要 精 検 査 者 数	要 精 検 査 率	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率	精 密 検 査 結 果 内 訳										陽 性 反 応 適 中 度	が ん 発 見 率	微 小 浸 潤 が ん 割 合
		精 検 不 要	要 精 検 1	要 精 検 2	判 定 不 能					子 宮 頸 が ん	微 小 浸 潤 が ん	CIN3 または AIS	CIN2	CIN1	腺 異 形 成	が ん の 疑 い ま た は 未 確 定	が ん 及 び 異 形 成 以 外 の 疾 患	異 常 な し	そ の 他 の が ん			
総 数	2,961	2,889	72	0	0	72	2.4	66	91.7	0	0	4	7	23	1	2	9	20	0	0.00	0.00	0.00
29歳以下	590	568	22			22	3.7	21	95.5				2	10		1	1	7				
30～34歳	347	334	13			13	3.7	10	76.9			1		5			1	3				
35～39歳	380	371	9			9	2.4	8	88.9			1	3	2			1	1				
40～44歳	578	568	10			10	1.7	10	100.0			1		2	1		1	5				
45～49歳	406	396	10			10	2.5	9	90.0					3			3	3				
50～54歳	260	257	3			3	1.2	3	100.0				1	1		1						
55～59歳	235	233	2			2	0.9	2	100.0			1	1									
60～64歳	112	109	3			3	2.7	3	100.0									2	1			
65～69歳	41	41																				
70～74歳	12	12																				
75～79歳																						
80歳以上																						



(4) 乳がん検診

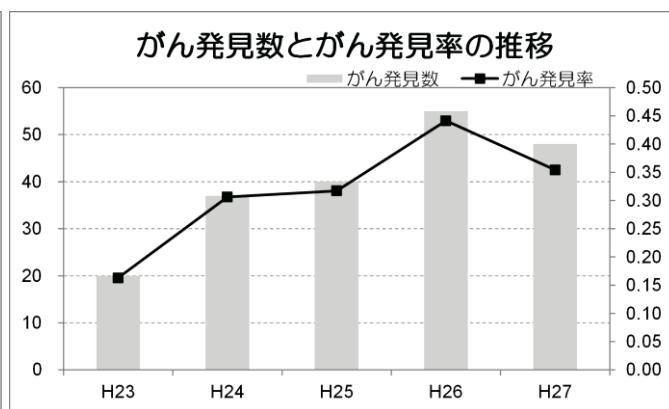
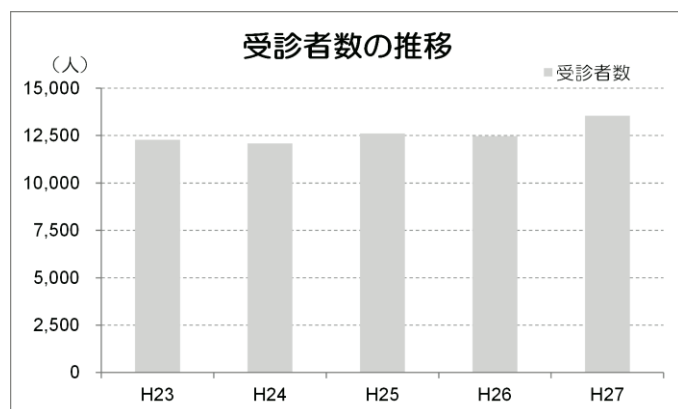
マンモグラフィ

地域、職域において乳がん検診を 13,555 名実施し、要精検者 1,078 名（要精検率 8.0%）、精検受診者 1,000 名（精検受診率 92.8%）、乳がん発見数 48 名（陽性反応適中度 4.45%、がん発見率 0.35%）であった。

<検査項目>

- 1 問診：既往歴・自覚症状等
- 2 マンモグラフィ

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
地 域	受診者数	11,805	10,790	11,061	10,044	10,037
	要精検者数	892	726	773	592	490
	要精検率（%）	7.6	6.7	7.0	5.9	4.9
	精検受診者数	839	690	735	568	456
	精検受診率（%）	94.1	95.0	95.1	95.9	93.1
	乳がん発見数	45	53	36	32	16
	陽性反応適中度（%）	5.04	7.30	4.66	5.41	3.27
	がん発見率（%）	0.38	0.49	0.33	0.32	0.16
職 域	受診者数	1,750	1,674	1,549	2,039	2,242
	要精検者数	186	133	147	151	161
	要精検率（%）	10.6	7.9	9.5	7.4	7.2
	精検受診者数	161	112	119	126	140
	精検受診率（%）	86.6	84.2	81.0	83.4	87.0
	乳がん発見数	3	2	4	5	4
	陽性反応適中度（%）	1.61	1.50	2.72	3.31	2.48
	がん発見率（%）	0.17	0.12	0.26	0.25	0.18
合 計	受診者数	13,555	12,464	12,610	12,083	12,279
	要精検者数	1,078	859	920	743	651
	要精検率（%）	8.0	6.9	7.3	6.1	5.3
	精検受診者数	1,000	802	854	694	596
	精検受診率（%）	92.8	93.4	92.8	93.4	91.6
	乳がん発見数	48	55	40	37	20
	陽性反応適中度（%）	4.45	6.40	4.35	4.98	3.07
	がん発見率（%）	0.35	0.44	0.32	0.31	0.16

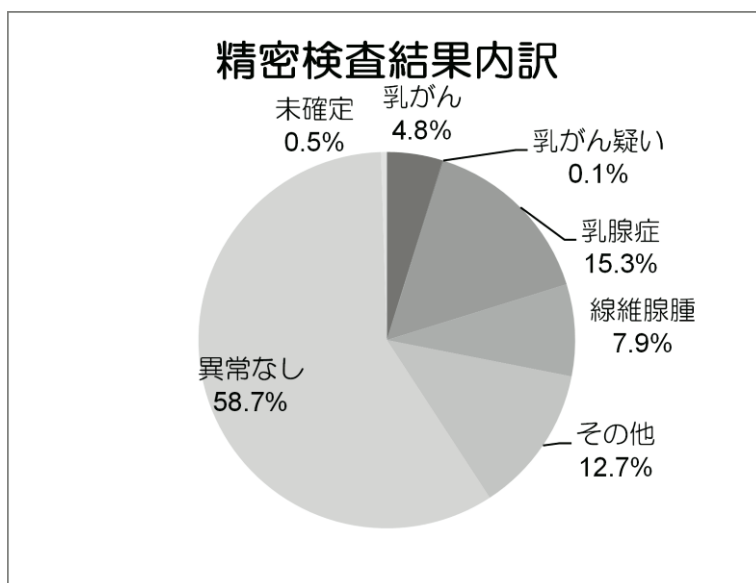


1) 地 域

年 齢 階 級	受 診 者 数	マンモグラフィの判定別人数					要 精 検 者 数	要 精 検 率	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率	精 密 検 査 結 果 内 訳										陽 性 反 応 適 中 度	が ん 発 見 率	早 期 が ん 割 合	非 浸 潤 が ん 割 合
		カテゴリー分類									乳 が ん	乳 が ん 疑 い		乳 が ん 以 外 の 疾 患	異 常 な し	未 確 定								
		1	2	3	4	5						乳 腺 症	線 維 腺 腫				そ の 他							
総 数	11,805	9,419	1,494	841	39	12	892	7.6	839	94.1	45	32	9	1	114	61	107	509	2	5.04	0.38	71.1	20.0	
40～44歳	1,172	901	131	139	1		140	11.9	129	92.1					24	13	17	75						
45～49歳	785	611	94	75	5		80	10.2	70	87.5	5	2	2		13	6	8	38		6.25	0.64	40.0	40.0	
50～54歳	871	681	122	65	2	1	68	7.8	63	92.6	4	4	1		11	6	9	33		5.88	0.46	100.0	25.0	
55～59歳	897	690	123	80	2	2	84	9.4	79	94.0	4	3	1		16	6	10	43		4.76	0.45	75.0	25.0	
60～64歳	1,704	1,361	215	112	11	5	128	7.5	122	95.3	6	4	2		15	8	13	79	1	4.69	0.35	66.7	33.3	
65～69歳	2,688	2,142	359	177	8	2	187	7.0	179	95.7	11	10	1		11	11	20	125	1	5.88	0.41	90.9	9.1	
70～74歳	2,012	1,645	245	115	5	2	122	6.1	119	97.5	9	6	1		15	7	19	69		7.38	0.45	66.7	11.1	
75～79歳	1,063	881	130	51	1		52	4.9	50	96.2	3	1			5	3	7	32		5.77	0.28	33.3	0.0	
80歳以上	613	507	75	27	4		31	5.1	28	90.3	3	2	1	1	4	1	4	15		9.68	0.49	66.7	33.3	

2) 職 域

年 齢 階 級	受 診 者 数	マンモグラフィの判定別人数					要 精 検 者 数	要 精 検 率	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率	精 密 検 査 結 果 内 訳										陽 性 反 応 適 中 度	が ん 発 見 率	早 期 が ん 割 合	非 浸 潤 が ん 割 合
		カテゴリー分類									乳 が ん	乳がん以外の疾患		異常 なし	未 確 定									
		1	2	3	4	5						早期がん	が 非 浸 潤			乳 腺 症	線 維 腺 腫	そ の 他						
総 数	1,750	1,318	246	183	3	0	186	10.6	161	86.6	3	1	1	0	39	18	20	78	3	1.61	0.17	33.3	33.3	
39歳以下	42	35	4	3			3	7.1	3	100.0					2			1						
40～44歳	570	436	65	68	1		69	12.1	58	84.1					15	9	7	27						
45～49歳	416	315	53	47	1		48	11.5	43	89.6	1	1	1		11	4	4	22	1	2.08	0.24	100.0	100.0	
50～54歳	275	199	47	28	1		29	10.5	26	89.7	1				6	3	6	10		3.45	0.36	0.0	0.0	
55～59歳	243	174	44	25			25	10.3	21	84.0	1				2	1	2	13	2	4.00	0.41	0.0	0.0	
60～64歳	125	92	26	7			7	5.6	6	85.7					2		1	3						
65～69歳	62	53	6	3			3	4.8	2	66.7								2						
70～74歳	16	14	1	1			1	6.3	1	100.0					1									
75～79歳	0																							
80歳以上	1			1			1	100.0	1	100.0						1								



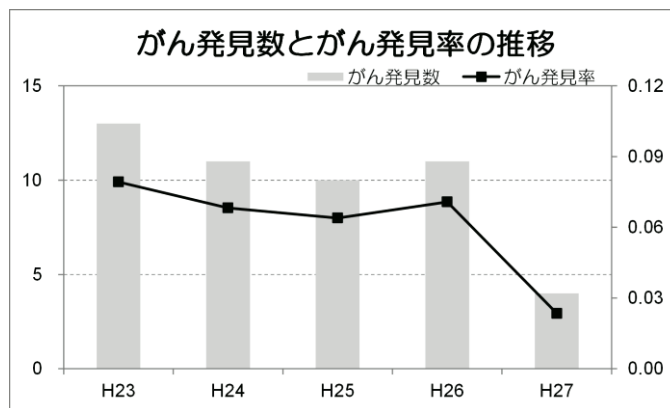
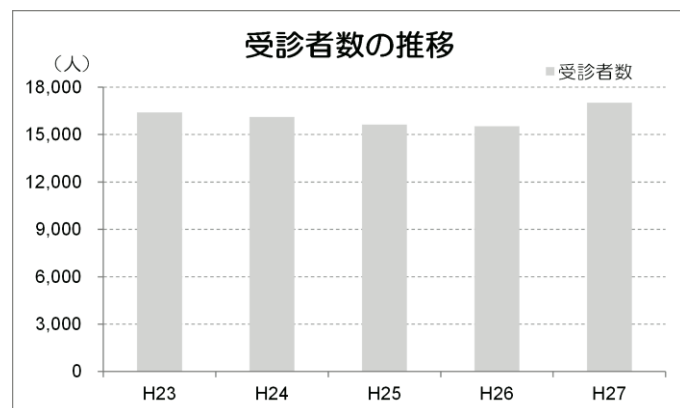
乳視触診

地域、職域において乳視触診を 17,011 名実施し、要精検者 129 名（要精検率 0.8%）、精検受診者 115 名（精検受診率 89.1%）、乳がん発見数 4 名（陽性反応適中度 3.10%、がん発見率 0.02%）であった。

<検査項目>

- 1 問診：既往歴・自覚症状等
- 2 乳視触診

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
地 域	受診者数	14,021	13,101	13,138	13,432	13,594
	要精検者数	116	95	98	119	116
	要精検率（%）	0.8	0.7	0.7	0.9	0.9
	精検受診者数	104	77	87	102	98
	精検受診率（%）	89.7	81.1	88.8	85.7	84.5
	がん発見数	3	11	9	9	10
	陽性反応の適中度（%）	2.59	11.58	9.18	7.56	8.62
	がん発見率（%）	0.02	0.08	0.07	0.07	0.07
職 域	受診者数	2,990	2,438	2,500	2,691	2,811
	要精検者数	13	17	16	20	17
	要精検率（%）	0.4	0.7	0.6	0.7	0.6
	精検受診者数	11	11	13	16	15
	精検受診率（%）	84.6	64.7	81.3	80.0	88.2
	がん発見数	1	0	1	2	3
	陽性反応の適中度（%）	7.69	0.00	6.25	10.00	17.65
	がん発見率（%）	0.03	0.00	0.04	0.07	0.11
合 計	受診者数	17,011	15,539	15,638	16,123	16,405
	要精検者数	129	112	114	139	133
	要精検率（%）	0.8	0.7	0.7	0.9	0.8
	精検受診者数	115	88	100	118	113
	精検受診率（%）	89.1	78.6	87.7	84.9	85.0
	がん発見数	4	11	10	11	13
	陽性反応の適中度（%）	3.10	9.82	8.77	7.91	9.77
	がん発見率（%）	0.02	0.07	0.06	0.07	0.08



乳腺超音波検査

職域において乳腺超音波検査を 1,253 名実施し、要精検者 34 名（要精検率 2.7%）、精検受診者 29 名（精検受診率 85.3%）、乳がん発見数 0 名（陽性反応適中度 0.00%、がん発見率 0.00%）であった。

5

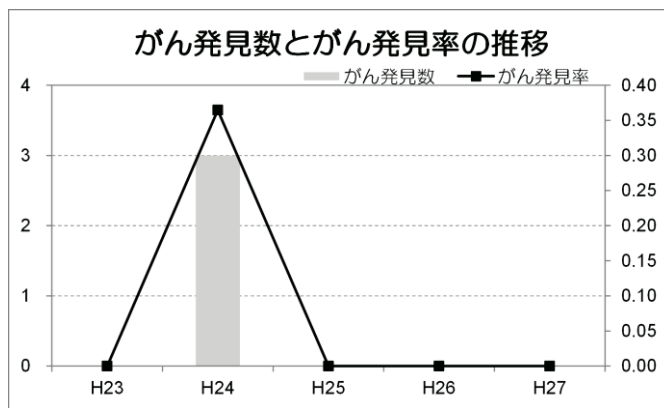
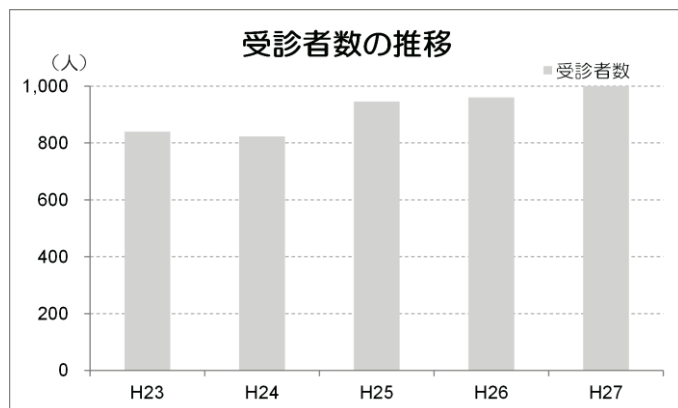
がん検診

(4) 乳がん検診

＜検査項目＞

- 1 問診：既往歴・自覚症状等
- 2 乳腺超音波検査

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
地 域	受診者数	0	0	0	0	0
	要精検者数	0	0	0	0	0
	要精検率（%）					
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	精検受診率（%）					
	乳がん発見数	0	0	0	0	0
	陽性反応適中度（%）					
	がん発見率（%）					
職 域	受診者数	1,253	960	946	823	840
	要精検者数	34	18	35	60	52
	要精検率（%）	2.7	1.9	3.7	7.3	6.2
	精検受診者数	29	15	31	50	45
	精検受診率（%）	85.3	83.3	88.6	83.3	86.5
	乳がん発見数	0	0	0	3	0
	陽性反応適中度（%）	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00
	がん発見率（%）	0.00	0.00	0.00	0.36	0.00
合 計	受診者数	1,253	960	946	823	840
	要精検者数	34	18	35	60	52
	要精検率（%）	2.7	1.9	3.7	7.3	6.2
	精検受診者数	29	15	31	50	45
	精検受診率（%）	85.3	83.3	88.6	83.3	86.5
	乳がん発見数	0	0	0	3	0
	陽性反応適中度（%）	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00
	がん発見率（%）	0.00	0.00	0.00	0.36	0.00



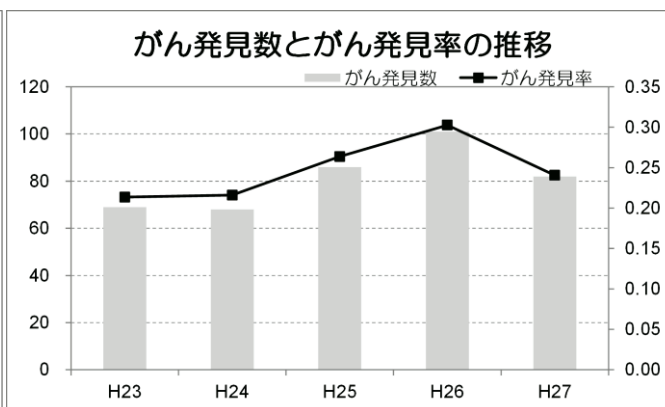
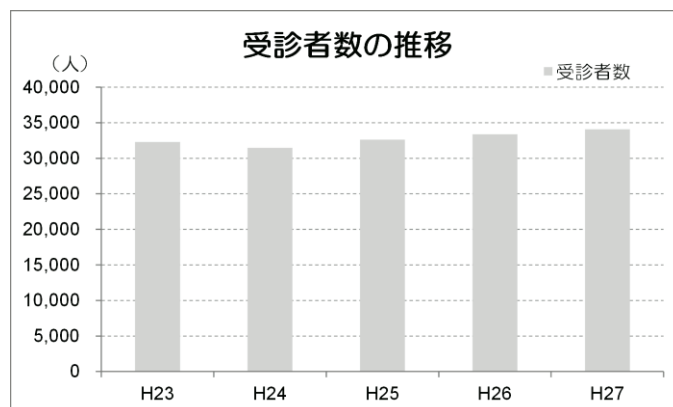
(5) 大腸がん検診

地域、職域において大腸がん検診を 34,084 名実施し、要精検者 2,304 名(要精検率 6.8%)、精検受診者 1,694 名(精検受診率 73.5%)、大腸がん発見数 82 名(陽性反応適中度 3.56%、がん発見率 0.24%)であった。

<検査項目>

- 1 問診：既往歴・自覚症状等
- 2 免疫便潜血検査（二日法）

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
地 域	受診者数	24,439	23,766	23,260	22,216	22,277
	要精検者数	1,752	1,686	2,001	1,412	1,421
	要精検率(%)	7.2	7.1	8.6	6.4	6.4
	精検受診者数	1,411	1,363	1,555	1,117	1,099
	精検受診率(%)	80.5	80.8	77.7	79.1	77.3
	大腸がん発見数	71	83	77	60	57
	陽性反応適中度(%)	4.05	4.92	3.85	4.25	4.01
	がん発見率(%)	0.29	0.35	0.33	0.27	0.26
職 域	受診者数	9,645	9,608	9,352	9,261	10,031
	要精検者数	552	551	635	310	569
	要精検率(%)	5.7	5.7	6.8	3.3	5.7
	精検受診者数	283	286	304	209	236
	精検受診率(%)	51.3	51.9	47.9	67.4	41.5
	大腸がん発見数	11	18	9	8	12
	陽性反応適中度(%)	1.99	3.27	1.42	2.58	2.11
	がん発見率(%)	0.11	0.19	0.10	0.09	0.12
合 計	受診者数	34,084	33,374	32,612	31,477	32,308
	要精検者数	2,304	2,237	2,636	1,722	1,990
	要精検率(%)	6.8	6.7	8.1	5.5	6.2
	精検受診者数	1,694	1,649	1,859	1,326	1,335
	精検受診率(%)	73.5	73.7	70.5	77.0	67.1
	大腸がん発見数	82	101	86	68	69
	陽性反応適中度(%)	3.56	4.51	3.26	3.95	3.47
	がん発見率(%)	0.24	0.30	0.26	0.22	0.21



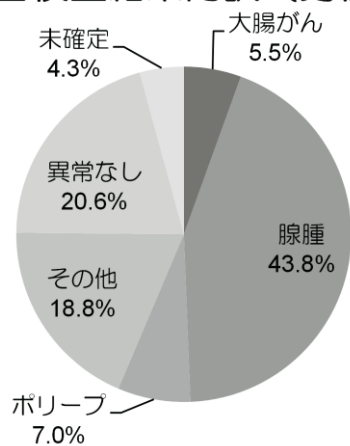
1) 地 域

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	精密検査結果内訳								陽性反応適中度	がん発見率	早期がん割合	粘膜内がん割合	
							大腸がん	早期がん	が粘膜内	疑い	大腸がん以外の患	腺腫	ポリープ	異常なし					未確定
総数		24,439	1,752	7.2	1,411	80.5	71	44	27	0	925	535	102	350	65	4.05	0.29	62.0	38.0
男性	計	9,204	815	8.9	645	79.1	41	28	19	0	456	278	49	119	29	5.03	0.45	68.3	46.3
	39歳以下	69	1	1.4	1	100.0					1								
	40～44歳	315	14	4.4	11	78.6					8	3		3					
	45～49歳	259	11	4.2	10	90.9					8	5	2	2					
	50～54歳	269	22	8.2	18	81.8	1	1	1		14	10	1	3		4.55	0.37	100.0	100.0
	55～59歳	413	26	6.3	18	69.2	2				12	9	1	3	1	7.69	0.48		
	60～64歳	888	62	7.0	42	67.7	2	2			30	18	3	9	1	3.23	0.23	100.0	
	65～69歳	2,371	187	7.9	144	77.0	10	6	4		106	67	13	23	5	5.35	0.42	60.0	40.0
	70～74歳	1,999	189	9.5	162	85.7	10	6	6		116	74	11	26	10	5.29	0.50	60.0	60.0
	75～79歳	1,479	147	9.9	123	83.7	11	8	3		87	45	10	21	4	7.48	0.74	72.7	27.3
	80歳以上	1,142	156	13.7	116	74.4	5	5	5		74	47	8	29	8	3.21	0.44	100.0	100.0
女性	計	15,235	937	6.2	766	81.8	30	16	8	0	469	257	53	231	36	3.20	0.20	53.3	26.7
	39歳以下	118	3	2.5	3	100.0					1			2					
	40～44歳	934	47	5.0	38	80.9					12	6		25	1				
	45～49歳	675	49	7.3	37	75.5	1				15	6	3	17	4	2.04	0.15		
	50～54歳	808	36	4.5	27	75.0	2	1			16	5	4	9		5.56	0.25	50.0	
	55～59歳	1,043	59	5.7	43	72.9	2	1			28	9	6	11	2	3.39	0.19	50.0	
	60～64歳	2,047	96	4.7	79	82.3	2				52	26	4	25		2.08	0.10		
	65～69歳	3,697	189	5.1	162	85.7	8	4	3		96	56	8	51	7	4.23	0.22	50.0	37.5
	70～74歳	2,852	173	6.1	150	86.7	4	3	2		101	61	12	40	5	2.31	0.14	75.0	50.0
	75～79歳	1,862	163	8.8	133	81.6	5	3	2		91	57	11	31	6	3.07	0.27	60.0	40.0
	80歳以上	1,199	122	10.2	94	77.0	6	4	1		57	31	5	20	11	4.92	0.50	66.7	16.7

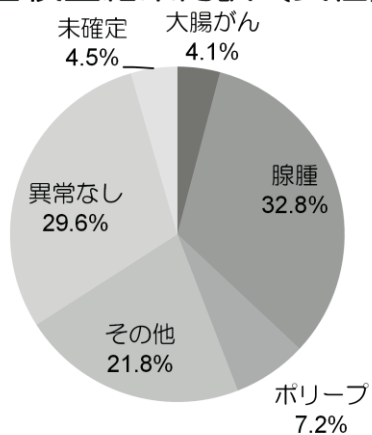
2) 職 域

性別	年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	精密検査結果内訳									陽性反応適中度	がん発見率	早期がん割合	粘膜内がん割合
							大腸がん	早期がん	粘膜内がん	大腸がん疑い	がん以外の疾患	腺腫	ポリープ	異常なし	未確定				
男性	総数	9,645	552	5.7	283	51.3	11	7	5	0	190	117	18	73	9	1.99	0.11	63.6	45.5
	計	7,439	428	5.8	224	52.3	7	3	2	0	149	103	12	60	8	1.64	0.09	42.9	28.6
	39歳以下	1,213	40	3.3	23	57.5					10	6	1	13					
	40～44歳	1,540	57	3.7	34	59.6					24	15	2	8	2				
	45～49歳	1,112	49	4.4	24	49.0					14	8		10					
	50～54歳	957	57	6.0	28	49.1	1				16	8	3	10	1	1.75	0.10		
	55～59歳	987	73	7.4	36	49.3	2	1	1		28	23		4	2	2.74	0.20	50.0	50.0
	60～64歳	921	76	8.3	38	50.0	2	2	1		29	22	3	5	2	2.63	0.22	100.0	50.0
	65～69歳	580	59	10.2	33	55.9	1				23	17	3	8	1	1.69	0.17		
	70～74歳	118	15	12.7	8	53.3	1				5	4		2		6.67	0.85		
	75～79歳	9	1	11.1															
	80歳以上	2	1	50.0															
女性	計	2,206	124	5.6	59	47.6	4	4	3	0	41	14	6	13	1	3.23	0.18	100.0	75.0
	39歳以下	346	25	7.2	10	40.0					9	2	2	1					
	40～44歳	444	17	3.8	7	41.2					3		1	4					
	45～49歳	385	30	7.8	15	50.0					11	4		4					
	50～54歳	305	18	5.9	10	55.6	1	1			6	2	2	2	1	5.56	0.33	100.0	
	55～59歳	306	10	3.3	6	60.0					6	3	1						
	60～64歳	245	10	4.1	3	30.0					2	1		1					
	65～69歳	150	11	7.3	6	54.5	3	3	3		3	1				27.27	2.00	100.0	100.0
	70～74歳	22	2	9.1	1	50.0					1	1							
	75～79歳	3	1	33.3	1	100.0								1					
	80歳以上																		

精密検査結果内訳（男性）



精密検査結果内訳（女性）



(6) 前立腺がん検診

地域、職域において前立腺がん検診を 9,039 名実施し、要精検者 380 名（要精検率 4.2%）、精検受診者 272 名（精検受診率 71.6%）、前立腺がん発見数 55 名（陽性反応適中度 14.47%、がん発見率 0.61%）であった。

5

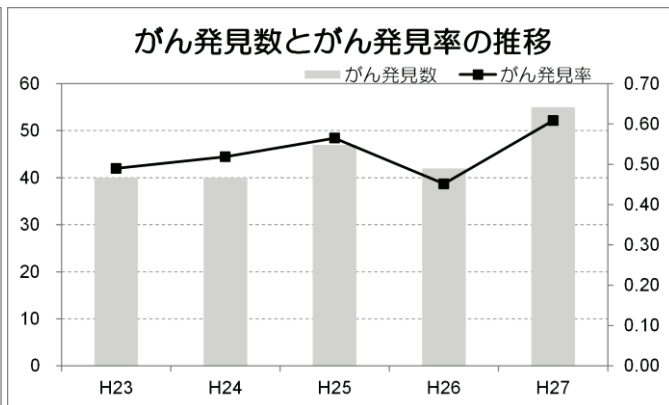
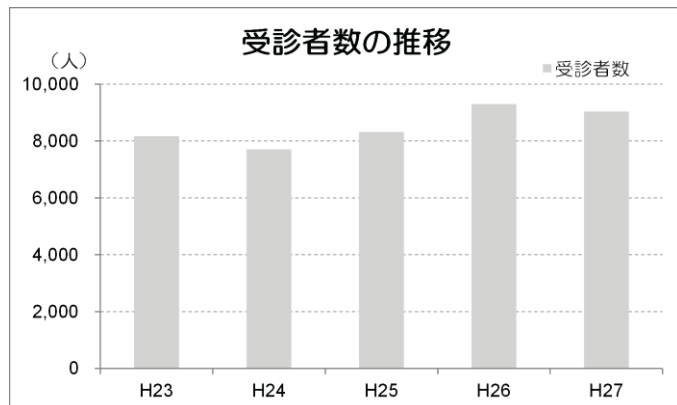
がん検診

(6) 前立腺がん検診

＜検査項目＞

- 1 問診：既往歴・自覚症状等
- 2 PSA 検査

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
地 域	受診者数	7,470	7,413	7,204	6,913	7,057
	要精検者数	346	329	350	443	404
	要精検率（%）	4.6	4.4	4.9	6.4	5.7
	精検受診者数	258	224	244	278	248
	精検受診率（%）	74.6	68.1	69.7	62.8	61.4
	前立腺がん発見数	52	39	46	39	37
	陽性反応適中度（%）	15.03	11.85	13.14	8.80	9.16
	がん発見率（%）	0.70	0.53	0.64	0.56	0.52
職 域	受診者数	1,569	1,891	1,118	801	1,112
	要精検者数	34	38	34	35	44
	要精検率（%）	2.2	2.0	3.0	4.4	4.0
	精検受診者数	14	13	18	18	21
	精検受診率（%）	41.2	34.2	52.9	51.4	47.7
	前立腺がん発見数	3	3	1	1	3
	陽性反応適中度（%）	8.82	7.89	2.94	2.86	6.82
	がん発見率（%）	0.19	0.16	0.09	0.12	0.27
合 計	受診者数	9,039	9,304	8,322	7,714	8,169
	要精検者数	380	367	384	478	448
	要精検率（%）	4.2	3.9	4.6	6.2	5.5
	精検受診者数	272	237	262	296	269
	精検受診率（%）	71.6	64.6	68.2	61.9	60.0
	前立腺がん発見数	55	42	47	40	40
	陽性反応適中度（%）	14.47	11.44	12.24	8.37	8.93
	がん発見率（%）	0.61	0.45	0.56	0.52	0.49



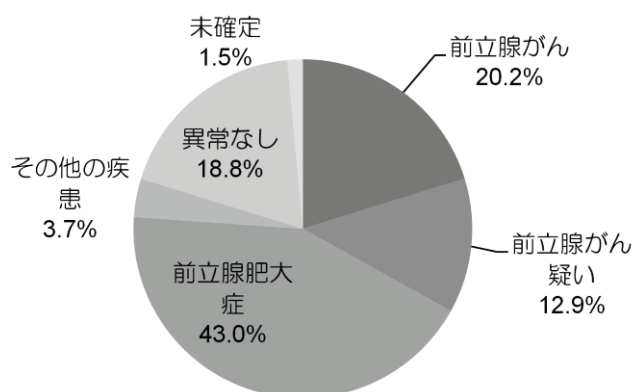
1) 地 域

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率	精 密 検 査 結 果 内 訳						陽 性 反 応 適 中 度	が ん 発 見 率
						前 立 腺 が ん	前 立 腺 疑 い が ん	前 立 腺 肥 大 症	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し	未 確 定		
総 数	7,470	346	4.6	258	74.6	52	32	110	10	50	4	15.03	0.70
39歳以下	22												0.00
40～44歳	120												0.00
45～49歳	114												0.00
50～54歳	221	1	0.5									0.00	0.00
55～59歳	339	1	0.3	1	100.0					1		0.00	0.00
60～64歳	722	17	2.4	12	70.6	2	1	6		3		11.76	0.28
65～69歳	2,005	90	4.5	61	67.8	13	7	23	3	15		14.44	0.65
70～74歳	1,783	83	4.7	65	78.3	18	4	25	4	12	2	21.69	1.01
75～79歳	1,222	80	6.5	56	70.0	14	7	25	1	8	1	17.50	1.15
80歳以上	922	74	8.0	63	85.1	5	13	31	2	11	1	6.76	0.54

2) 職 域

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率	精 密 検 査 結 果 内 訳						陽 性 反 応 適 中 度	が ん 発 見 率
						前 立 腺 が ん	前 立 腺 疑 い が ん	前 立 腺 肥 大 症	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し	未 確 定		
総 数	1,569	34	2.2	14	41.2	3	3	7	0	1	0	8.82	0.19
39歳以下	129												0.00
40～44歳	119	1	0.8	1	100.0			1				0.00	0.00
45～49歳	94												0.00
50～54歳	235	1	0.4	1	100.0		1					0.00	0.00
55～59歳	536	12	2.2	1	8.3			1				0.00	0.00
60～64歳	285	9	3.2	2	22.2	1	1					11.11	0.35
65～69歳	141	6	4.3	5	83.3	1		4				16.67	0.71
70～74歳	25	3	12.0	3	100.0	1		1		1		33.33	4.00
75～79歳	3												0.00
80歳以上	2	2	100.0	1	50.0		1					0.00	0.00

精密検査結果内訳



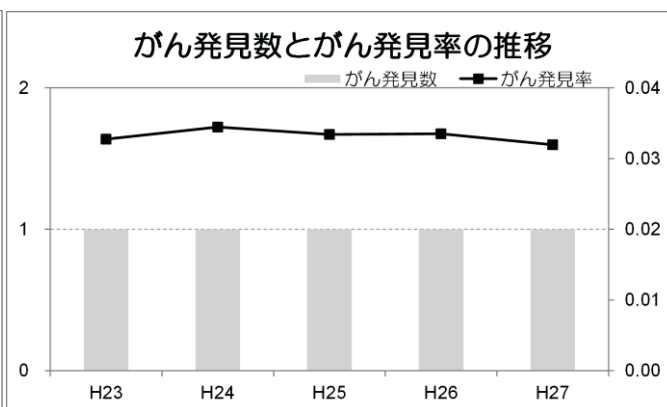
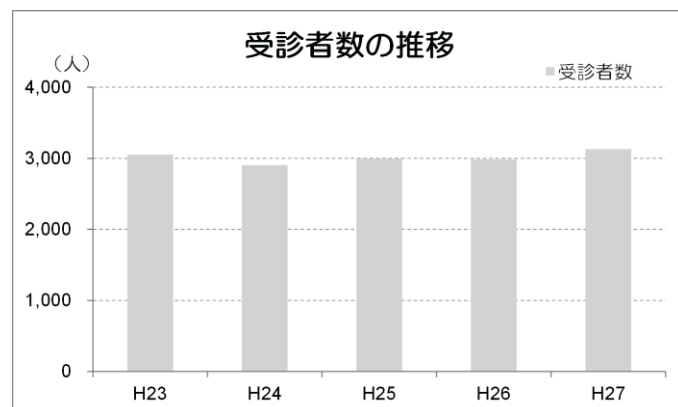
6 腹部超音波検査

職域において腹部超音波検査を 3,130 名実施し、要精検者 39 名（要精検率 1.2%）、精検受診者 23 名（精検受診率 59.0%）、がん発見数 1 名（陽性反応適中度 2.56%、がん発見率 0.03%）であった。

<検査項目>

- 1 問診：既往歴・自覚症状等
- 2 腹部超音波検査（肝臓・胆嚢・脾臓・膵臓・腎臓等）

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
地 域	受診者数	0	0	0	0	0
	要精検者数	0	0	0	0	0
	要精検率（%）					
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	精検受診率（%）					
	がん発見数	0	0	0	0	0
	陽性反応適中度（%）					
	がん発見率（%）					
職 域	受診者数	3,130	2,986	2,994	2,903	3,054
	要精検者数	39	22	44	68	51
	要精検率（%）	1.2	0.7	1.5	2.3	1.7
	精検受診者数	23	14	28	41	34
	精検受診率（%）	59.0	63.6	63.6	60.3	66.7
	がん発見数	1	1	1	1	1
	陽性反応適中度（%）	2.56	4.55	2.27	1.47	1.96
	がん発見率（%）	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
合 計	受診者数	3,130	2,986	2,994	2,903	3,054
	要精検者数	39	22	44	68	51
	要精検率（%）	1.2	0.7	1.5	2.3	1.7
	精検受診者数	23	14	28	41	34
	精検受診率（%）	59.0	63.6	63.6	60.3	66.7
	がん発見数	1	1	1	1	1
	陽性反応適中度（%）	2.56	4.55	2.27	1.47	1.96
	がん発見率（%）	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03



7 施設健診所（広島県健康福祉センター4F）

(1) 施設健診

施設健診所において、協会けんぽによる生活習慣病予防健診 2,267 名、人間ドック 1,108 名、その他定期健診、特殊健診等を実施した。※平成 24 年度以前の集計データは、精度が低いため不掲載

区 分	受 診 項 目	平成27年度 受 診 者 数	平成26年度 受 診 者 数	平成25年度 受 診 者 数
一 般 健 診	協会けんぽ（政府管掌）	2,267	2,138	2,054
	人間ドック	1,108	988	971
	その他定期	4,669	4,700	4,679
	特定健診	194	200	99
特 殊 健 診	じん肺	122	96	94
	石綿	216	222	209
	有機溶剤	130	128	131
	電離放射線	102	91	94
	VDT作業	196	180	207
がん 検 診	子宮頸部細胞診	740	715	609
	乳（マンモ）	582	623	489
	乳（超音波）	186	160	143
	前立腺	380	323	342
	胃部X線	2,668	2,573	2,428
	便潜血検査	4,027	3,695	3,422
オ プ シ ョ ン	腹部超音波	1,397	1,279	1,230
	胃内視鏡	945	798	746
	骨粗しょう症検査	57	63	165

(2) 予防接種センター

毎週水曜日、事前予約制で各種予防接種を実施した。

予防接種種類	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
ジフテリア	1	0	3	4	8
ジフテリア破傷風混合	2	0	0	3	1
破傷風	269	331	363	525	400
A型肝炎	284	350	413	446	403
B型肝炎	266	328	343	463	351
ポリオ	0	0	1	45	85
麻疹	4	2	3	3	7
おたふくかぜ	5	5	5	12	16
風しん	1	1	2	5	6
水痘	1	5	2	2	6
日本脳炎	152	169	185	299	280
麻疹風しん混合(MR)	7	8	58	8	19
インフルエンザ	18	12	13	5	19
狂犬病	256	317	300	303	291
肺炎球菌	0	0	0	2	0

8 普及啓発事業等・学会参加

(1) 予防思想の普及活動

結核予防週間（9月24日～9月30日）

- ①結核予防週間周知用ポスター・パンフレット等を県，市町，保健所，事業所等に配付した。
- ②会館1階ロビーにパネル展示コーナーを設置して，来館者にPRした。
- ③地区組織の育成強化

結核予防に対する地区組織の育成強化を図るため，広島県地域女性団体連絡協議会の幹部を結核予防関係婦人団体中央講習会，結核予防全国大会，中国四国地区結核関係婦人団体幹部講習会に派遣した。

複十字シール募金運動（8月1日～12月31日）

わが国最大の感染症である結核撲滅をめざして，全国的に行われている結核予防事業の資金造成のため，募金運動を展開している。この運動の期間中には，世羅町主催健康と福祉の町をめざしてのイベント会場にて多数の参加者に啓発活動として，複十字資材（マスク・リーフレット等）の配付と伴に募金運動を展開した。

また，官公庁，医師会，女性団体，事業所等多くの方々のご理解とご協力により，多くの浄財が寄せられた。

(2) 学会・研究会等での研究発表及び参加者

①学会発表

年 月 日	会 名	題 名	場 所	発表者及び 参加者
H27.6.21	平成 27 年度 健康運動指導者研 究交流会広島大会	特定保健指導における運動指導と安全管理	広島県	松田 景子 藤井 奈穂子
H27.11.5	第 74 回 日本公衆衛生学会 総会	集団検診受診者 7 年間の追跡調査による大腸 がんと生活習慣との関連性の検討	長崎県	藤井 紀子 松田 景子
H27.11.6	第 74 回 日本公衆衛生学会 総会	広島県市町国保加入者を対象とした特定保健 指導による介入効果の検証	長崎県	松田 景子 藤井 紀子
H27.11.28	第 46 回 日本消化器がん検診 学会中四国地方会	大腸がんの新規発生率および罹患リスクに関 するコホート研究	広島県	藤井 紀子

『特定保健指導における運動指導と安全管理』

公益財団法人広島県地域保健医療推進機構 健康づくり推進部健康推進課

○松田景子 山本嶺花 藤井奈穂子

8

普及啓発事業等・学会参加

(2)学会・研究会等での研究発表及び参加者

1. はじめに

平成 20 年度にスタートした特定健診・特定保健指導は今年度で 8 年目を迎えている。保健指導は、内臓脂肪（メタボリックシンドローム）に着目し、要因となる生活習慣を改善することで、糖尿病等の有病率・予備群を減少させることが目標である。

そのため、対象者自身が健診結果を理解して身体の変化に気づき、生活習慣を振り返り、改善するための行動目標を設定し、健康に関するセルフケア（自己管理）ができるようになることを最終目的としている。

対象者は、体重や腹囲に加え、血圧・脂質・血糖等のリスクがあるが、服薬していないため、循環器疾患等の発症の可能性が高い。運動については、十分な安全管理が必要である。

今回は、当機構の平成 20 年から 24 年度までの 5 年間に実施した巡回型保健指導の市町国保（5 市町）と単一健保（1 事業所）の取組みについてまとめたのでご紹介したい。

2. 特定保健指導実施数

表 1 特定保健指導実施率

年度	支援レベル	市町国保		事業所	
		実施数 (人)	平均年齢(歳)	実施数 (人)	平均年齢(歳)
平成20年	動機付け支援	205	67.2	0	—
	積極的支援	14	58.5	25	48.3
平成21年	動機付け支援	167	67.2	0	—
	積極的支援	14	54.6	31	51.4
平成22年	動機付け支援	225	67.2	32	51.0
	積極的支援	36	59.1	68	50.5
平成23年	動機付け支援	148	67.0	35	48.5
	積極的支援	20	59.1	81	49.5
平成24年	動機付け支援	189	66.0	24	46.7
	積極的支援	27	59.4	27	46.1
合 計		1,045	66.0	323	49.7

3. 支援内容

支援レベル、契約等により支援内容、支援回数、支援時間が異なっている。(図 1)

一般的に動機付け支援は、原則初回 1 回の面接に加え、最終は通信での支援となっているが、当機構では、初回と最終（6 か月目）の 2 回面接に加え、3 か月目に手紙を送付している。グループ支援が多く、初回に 10～15 分間の運動を紹介している。

積極的支援においては、初回、中間（3 か月目）、最終（6 か月目）の面接に加え、月 1 回の割合で、通信による支援を含め継続的に行っている。市町国保の 2 市町と事業所においては、コースの中に 60～80 分の運動教室が含

まれている所もある。

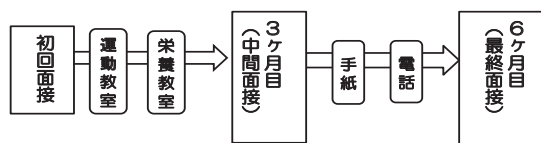
次に市町国保、事業所の実施状況を見てみると、市町国保においては、平均年齢が66.0歳と高く、保健指導レベルを決める「階層化ルール」においてリスクが2つ以上あっても、65歳以上は、積極的支援ではなく動機付け支援に振り分けられる。

このため、リスクの多い動機付け支援が多い。運動支援においては、介護予防を念頭においた指導が中心であり、転倒や寝たきりを防ぐ目的で行っている。

事業所においては、平均年齢が49.7歳と低く働き盛りであり、内臓脂肪を減らすため、有酸素運動、筋力強化等のメタボ改善を中心とした内容で実施している。

▼積極的支援

1ヶ月毎に支援・・・運動・栄養教室や通信（電話・手紙・メール等）



▼動機付け支援

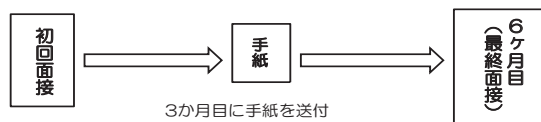


図1 特定保健指導 支援形態

4. 運動支援実施について

1) 使用ツール

- ① プロフィール調査票・・・自覚症状、既往歴、家族歴、服薬状況、整形外科等通院治療中の確認、運動習慣の有無、経験等)
- ② 同意書・・・管理下でない場所での運動実施時の事故についての責任所在
- ③ 運動を行う時の注意事項（セルフチェック、血圧測定、シューズの選び方、準備運動、水分補給等）

2) 情報収集

- ① 支援前・・・健診データのチェック(血圧、血液データ、既往歴等)
事業所のみ運動支援を外部委託している。事前に血液データ、初回目標、運動上の問題点、喫煙歴、既往歴等の情報を伝え、情報の共有化を行う。
- ② プロフィール調査票や問診等から情報を得る。

3) 運動を行う注意点

- ① 市町国保の動機付け支援の場合は、74歳までが対象になる。また、支援当日に整形外科的な部分（膝痛、腰痛等）の情報がわかるため、強度が低い取り組みやすい運動（ロコトレやスクワット、ラジオ体操等）を紹介している。
- ② 日頃から、脈拍・血圧測定を行い体調管理すること、無理をしないことを伝える。運動前に「運動を行う時の注意事項」をチェックする。
- ③ インナーマッスルトレーニング（腹式呼吸、背筋）を勧めている。
- ④ 夏は、炎天下でのウォーキングは脱水・熱中症等の危険が伴うため、行う場合は朝・夕のできるだけ涼しい時間でのウォーキングを勧めている。
- ⑤ 冬は、寒さや雪等により危険が伴う場合（高血圧や心臓病等）は、自宅内でできる運動を勧めている。例えば、踏み台昇降、テレビを見ながら「その場足踏み」、腹筋、ストレッチ体操等。
- ⑥ 運動が難しい場合は、生活活動を増やす提案、歩数計活用、早歩き等を勧める。

- ⑦ 運動消費カロリー計算（食事+運動を両立することを目標にする）を行う。
- ⑧ 検査値が高いが未受診の場合は、まず受診勧奨を行う。
- ⑨ 服薬中の場合は、特定保健指導参加における主治医の了承確認を行う。

5. 今後の課題とまとめ

運動指導において、個人支援であればレベルに合わせた運動支援を行うことができるが、動機付け支援の場合、グループ支援で行うことが多いため、強度が低い取り組みやすい運動（ストレッチ体操等）がメインとなっている。そのため、体力や運動習慣を考慮できず、レベルに合っていない支援となっていることがある。

また、運動習慣がない人は、運動習慣をつけることが改善効果をあげることは理解しているが、実際には冬は農閑期や積雪等環境の変化で動かず体重増加をしてしまい習慣化につながる事が難しい現状である。安全管理については、支援前の健診データのチェックや支援時のチェックを行うが、支援の当日に情報・状況が分かることが多く、安全管理は十分とはいえない。

今後は、運動が習慣として取り入れられるように、安全面においてもさらに支援内容を工夫し、効果につながる保健指導を実施したい。

参考文献

- ・厚生労働省「健康づくりのための身体活動基準 2013」
- ・厚生労働省「健康づくりのための身体活動指針（アクティブガイド）」
- ・厚生労働省保険局「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」 平成 25 年 4 月
- ・厚生労働省健康局「標準的な健診・保健指導プログラム（改訂版）」平成 25 年 4 月
- ・厚生労働省「健康日本21（第二次）」平成 24 年 7 月

『集団検診受診者 7 年間の追跡調査による大腸がん』

生活習慣との関連性の検討』

○藤井紀子¹⁾²⁾、大久真幸²⁾、山本周子¹⁾、永嶋慎太郎¹⁾、海嶋照美³⁾、田中純子¹⁾¹⁾ 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 疫学・疾病制御学²⁾ 公益財団法人広島県地域保健医療推進機構³⁾ 広島県

【目的・背景】

大腸がん発症に関連するリスクを明らかにするために、7 年間の集団検診受診者の追跡を行い、生活習慣と大腸がん発症の関連性を明らかにする。厚生労働省人口動態統計では平成 25 (2013) 年の大腸がんによる死亡数は、47,654 人 (男性 25,808 人、女性 21,846 人) 死亡率は人口 10 万対 37.9 (男性 42.1、女性 33.9) であった。

大腸がん検診の便潜血検査における新規陽転率や、大腸がんの新規発生率を推計すること、および大腸がん罹患者における、リスク因子を明らかにすること等により一次予防である適度な運動やバランスのとれた食生活ががんの早期発見・早期治療を目的とした定期的な検診 (二次予防) の重要性を提唱することを目的とした。

【対象】

広島県 13 市町における 2007 年から 2014 年まで (7 年間) の集団検診受診者のべ 267,938 人 (重複を除く実人数 98,729 人) のうち、大腸がん検診受診者のべ 155,277 人 (実人数 57,472 人) (初診時平均年齢: 66.8 ± 11.2 歳) を対象とした。

【方法 1】

① 大腸がん検診便潜血検査新規陽転率

便潜血検査において新規に「陽性」(要精検) となった新規陽転率を人年法を用いて算出した。観察期間と対象の定義は、Fig.2 に示す。

② 大腸がん新規発生率

精検結果未把握者とは、精密検査未受診者および精密検査結果の報告がなく、結果が把握できない者をいう。これらの精検未把握者が全員、精密検査を受診したと仮定し、当該年度の陽性反応的中率を推計し、大腸がん新規発生率を試算した。

③ 大腸がん罹患リスクの検討

観察期間中「大腸がん」と判明した者を患者群とし、一次スクリーニングにおける大腸がん検診結果において「便潜血陰性」あるいは精検結果において「がん」ではなかった者から、性・年齢・受診年をマッチングして 1:10 で、抽出した集団を対照群とした。

ステップワイズ法による説明変数の選択を行い、変数選択の基準は、 $p < 0.20$ とした。また解析には統計解析ソフト JMP9 (SAS Institute Inc, Cary, NC, USA) を用いた。有意水準を 0.05 とした。大腸がん罹患リスク要因を検討するため、ロジスティック回帰分析およびコックスの比例ハザード回帰分析を行った。生活習慣や既往歴、家族歴、自覚症状などの 136 変数を説明変数とし、便潜血新規陽転、新規がん発生をそれぞれ、目的変数とした。

【結果】

当該対象者における 7 年間の精検受診率の平均は $74.8 \pm \%$ (男性 72.5%、女性 76.9%) で、がん発生率は 0.24

±%（男性 0.36%、女子 0.17%）であった。また多変量解析により、「脳血管疾患の既往歴あり」「家族歴に糖尿病がある」について、有意に差を認めました。またがんであった者の受診時の空腹時血糖値は、 101 ± 21.9 mg/dl（範囲 69.0-256mg/dl）、HbA1c 5.89 ± 0.76 %（NGSP 値）であった。これらのことから、大腸がん罹患リスクとして、生活習慣病である糖尿病や脳血管疾患の関連性が示唆された。

【考察】

大腸がんの新規発生率は 10 万人年あたり、139.8 で男性は有意に女性より罹患率が高く、特に 70 歳代男性で罹患率を示した。大腸疾患の既往、生活習慣改善の意義なし、自覚症状では、自覚症状では、便秘、家族歴では、糖尿病が挙げられた。罹患リスクの結果から、脳血管疾患や糖尿病などの生活習慣との関連性が示唆されたことから、がん予防には、一次予防が重要であると考えられた。

『広島県市町国保加入者を対象とした特定保健指導による介入効果の検証』

○松田景子¹⁾，佐古通¹⁾，藤井紀子^{1,2)}，田中純子²⁾¹⁾ 公益財団法人広島県地域保健医療推進機構²⁾ 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 疫学・疾病制御学

【目的】 特定保健指導終了者における「健康に対する意識」及び BMI・腹囲・血圧値の変化について、性・年齢・階層化リスク数別のグループ分けを行い、保健指導介入効果を検証する。

【対象】 平成 20～24 年度までの 5 年間に、当機構が広島県市町国保特定健診を実施した 73,926 人（13 市町）のうち、特定保健指導事業を受託している 5 市町で階層化により対象者に選ばれた 3,364 人（積極的支援 586 人、動機付け支援 2,778 人）を対象とした。このうち特定保健指導を終了した 1,035 人を解析対象とし、積極的支援では 7 人の脱落を除く 111 人（終了率 18.9%）を解析対象とした。男性は 72 人（64.9%）、女性は 39 人（35.1%）であった。平均年齢は 58.5 ± 5.6 歳（男性 57.7 ± 6.2 歳、女性 59.9 ± 3.9 歳）であった。動機付け支援は、928 人が支援を希望し、途中脱落（4 人）を除く 924 人（終了率 33.3%）を解析対象とした。男性は 465 人（ 67.3 ± 6.5 歳）、女性 459 人（ 66.4 ± 6.0 歳）を対象とした。

【方法】 年齢を 40～65 歳未満と 65～75 歳未満、支援形態を積極的支援、動機付け支援の 4 グループに分け、初回支援時と最終支援時の測定値の差、行動ステージの変化を比較した。また、グループ間における最終支援時の測定値の変化量の比較も行った。

グループ分けとして、積極的支援 40～65 歳未満（リスク多）を A、動機付け支援 40～65 歳未満（リスク少）を B、65～75 歳未満（リスク多）を C、65～75 歳未満（リスク少）を D に分け、4 グループ間において比較検討した。初回支援時と最終支援時における比較を対応のある検定（対応のある t 検定、Wilcoxon の符号付順位和検定、McNemar 検定）を用いて行った。

【結果・考察】 A～D グループの、体重（ともに $p < 0.001$ ）、BMI（ともに $p < 0.001$ ）、腹囲（ともに $p < 0.001$ ）、収縮期血圧（それぞれ $p < 0.001$ 、 $p < 0.01$ ）、拡張期血圧（それぞれ $p < 0.01$ 、 $p < 0.05$ ）において有意な減少が認められた。また、グループ別にみた行動ステージの変化（ともに $p < 0.001$ ）において有意な相関を認めた。

最終支援時の測定値の変化量は、4 グループとも保健指導後に有意に減少したが、グループ間における変化量の差は認められなかった。

A、B グループ（40～65 歳未満）では、最終支援時の拡張期血圧が有意な減少を認めた。このことから比較的若いうちから定期的な健診を受け、リスクに応じた保健指導を受けることが望ましいと考えられた。

『大腸がんの新規発生率および罹患リスクに関するコホート研究』

○藤井紀子^{1,2)}、佐古通²⁾、原川貴之²⁾、大久真幸¹⁾、片山恵子¹⁾、田中純子¹⁾

1) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 疫学・疾病制御学

2) 公益財団法人広島県地域保健医療推進機構

【背景】わが国における死因別死亡率の1位は、1981年以降、一貫して悪性新生物である。2014年における部位別死亡率は、男性では肺癌が最も高く大腸がんは3位、女性では2003年以降、大腸がんが最も高い死亡率を示している。しかし、大腸がん検診受診率は、19.2%と低迷している。

【目的】大腸がん検診受診者における性年齢階級別の便潜血検査新規陽転率および、大腸がん新規発生率を明らかにすることにより、検診の必要性を明らかにするとともに、大腸がん罹患に関するリスク要因を明らかにする。

【対象】本研究における対象は、2007年から2014年の7年間に於いて、広島県の集団検診受診者のべ267,938人、重複を除く実人数98,729人のうち、大腸がん検診受診者のべ155,277人、実人数57,472人(男性21,937人、女性35,535人)とした。

【方法】対象者の受診状況について7年間にわたるretrospective cohort studyにより、便潜血検査新規陽転率および大腸がん新規発生率について人年法に基づき算出した。また大腸がん罹患リスクの検討では、大腸がんであった群に対して、大腸がんではなかった群から1:10でコントロール群を抽出し、問診票から得られた136項目を説明変数として多変量解析を行った。

【結果】便潜血検査新規陽転率については、男性は女性の約1.3倍高く、年齢階級別では男女ともに40歳代に比較して80歳代で約2.7~3.2倍の高い新規陽転率を示した。大腸がん新規発生率では、男女全体では139.6/10万人年(95%CI:119.2-162.2)であり、男性215.5/10万人年(95%CI:173.7-261.9)、女性95.2/10万人年(95%CI:74.4-119.8)であった。特に男性は、同年齢における女性と比較すると4~6倍高い大腸がん新規発生率を認めた。大腸がん罹患と有意な関連要因は、大腸疾患の既往歴(OR=2.49, HR=2.00)、脳血管疾患の既往歴(OR=2.97, HR=2.24)、糖尿病家族歴(OR=1.56, HR=1.55)が挙げられた。

【結論】便潜血検査新規陽転の可能性は4.2人に1人、大腸がん新規発生率は、すべての年齢層において男性は女性の約2倍であった。特に男性50歳代に比較して、70歳代では2.1倍、同様に女性は6.4倍であった。男女ともに50歳以上では検診を受診することにより大腸がんの早期発見につながることの重要性が示された。

精 度 管 理

公益財団法人広島県地域保健医療推進機構特定健診等専門委員会委員名簿

委 員 名	所 属
委員長 河 野 修 興	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授
江 草 玄 士	医療法人江草玄士クリニック院長
木 原 康 樹	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授
濱 田 泰 伸	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授
東 川 安 雄	広島大学大学院教育学研究科教授
細 見 直 永	広島大学病院脳神経内科診療准教授
松 本 昌 泰	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授
安 永 裕 司	広島県立障害者リハビリセンター副所長
山 根 公 則	N T T西日本中国健康管理センタ長
山 本 秀 也	広島大学病院循環器内科診療准教授
(評価委員)	
田 中 純 子	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授

特定健診研究テーマ

- ・ 特定健診の受診回数別に見た受診者の検査結果と服薬導入状況の検討（市町国保）

特定保健指導研究テーマ

- ・ 腹囲の変化量と生活改善の内容との関連性の検討（市町国保・健保組合）

専門委員による討議内容

- ・ 特定健診等専門委員会で過去に検討した研究内容について
- ・ 特定健診・特定保健指導の受診効果と受診率向上のための対策

※広島県地域保健対策協議会へデータ提供（特定保健指導効果リーフレット作成のため）

- ・ 特定健診・特定保健指導未受診者データの必要性

公益財団法人広島県地域保健医療推進機構肺がん専門委員会委員名簿

委 員 名	所 属
委員長 山 岡 直 樹	吉島病院副院長
有 田 健 一	広島赤十字・原爆病院呼吸器科部長
江 川 博 彌	広島市立安佐市民病院
大 本 俊 文	呉市医師会病院副院長
奥 崎 健	三原市医師会病院副院長
木 村 昭 二 郎	広島県地域保健医療推進機構参与
内 藤 晃	中国労災病院放射線科部長
藤 原 恵	広島赤十字・原爆病院病理診断科部長
光 山 豊 文	光山内科クリニック院長

研究・発表テーマ

- ・平成 26 年度肺がん検診実施結果報告

専門委員による討議内容

- ・読影レポートシステムの導入について
- ・CT 肺がん検診の導入について
- ・事業所検診の精密検査受診率の向上に対する取り組みについて
- ・精密検査未受診者に対する受診干渉について

公益財団法人広島県地域保健医療推進機構胃がん・大腸がん専門委員会委員名簿

委 員 名	所 属
委員長 吉 原 正 治	広島大学保健管理センター長
岡 志 郎	広島大学病院内視鏡診療科診療講師
北 台 靖 彦	広島大学大学院医歯薬保健学研究院准教授
木 村 昭 二 郎	広島県地域保健医療推進機構参与
小 武 家 俊 英	小武家放射線科胃腸科医院院長
隅 井 浩 治	済生会広島病院院長
田 中 信 治	広島大学病院内視鏡診療科教授
日 高 徹	安芸太田病院病院事業管理者
日 山 亨	広島大学保健管理センター准教授
益 田 浩	益田内科胃腸科医院院長

研究・発表テーマ

- ・平成 26 年度胃がん・大腸がん検診実施結果報告

専門委員による討議内容

●胃がん

- ・追跡未回答分に対する再追跡への協力願い
- ・ピロリ菌未感染，現感染，既感染判別の課題について
- ・X線画像からのピロリ菌感染の有無を意識して撮影をしているか
→技師にもピロリ菌感染を判別する読影力をつけるべき

●大腸がん

- ・クーポン利用受診について

公益財団法人広島県地域保健医療推進機構子宮頸がん専門委員会委員名簿

委 員 名	所 属
委員長 工 藤 美 樹	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授
有 廣 光 司	広島大学病院病理診断科教授
勝 部 泰 裕	中国労災病院副院長
木 岡 寛 雅	木岡産婦人科・きおか皮膚科クリニック院長
内 藤 博 之	県立広島病院成育医療センター長
野 間 純	広島市立広島市民病院婦人科主任部長
早 瀬 良 二	福山医療センター統括診療部長
平 田 英 司	広島大学大学院医歯薬保健学研究院助教

研究・発表テーマ

- ・平成 26 年度子宮頸がん検診実施結果報告

専門委員による討議内容

- ・広島県における検診受診者の推移

公益財団法人広島県地域保健医療推進機構乳がん専門委員会委員名簿

委 員 名	所 属
委員長 片 岡 健	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授
岩 沖 靖 久	J A 吉田総合病院副院長
香 川 直 樹	香川乳腺クリニック院長
角 舎 学 行	広島大学病院乳腺外科講師
木 村 昭 二 郎	広島県地域保健医療推進機構参与
佐 々 田 達 成	J A 尾道総合病院乳腺外科部長
住 元 一 夫	J A 吉田総合病院院長
高 橋 護	中国労災病院乳腺外科部長
新 本 稔	新本クリニック院長
橋 詰 淳 司	三次市立三次中央病院外科医長
檜 垣 健 二	ひがき乳腺クリニック院長
船 越 真 人	広島市立安佐市民病院乳腺・内分泌外科部長
三 好 和 也	福山医療センター乳腺・内分泌外科医長

研究・発表テーマ

- ・平成 26 年度乳がん検診実施結果報告

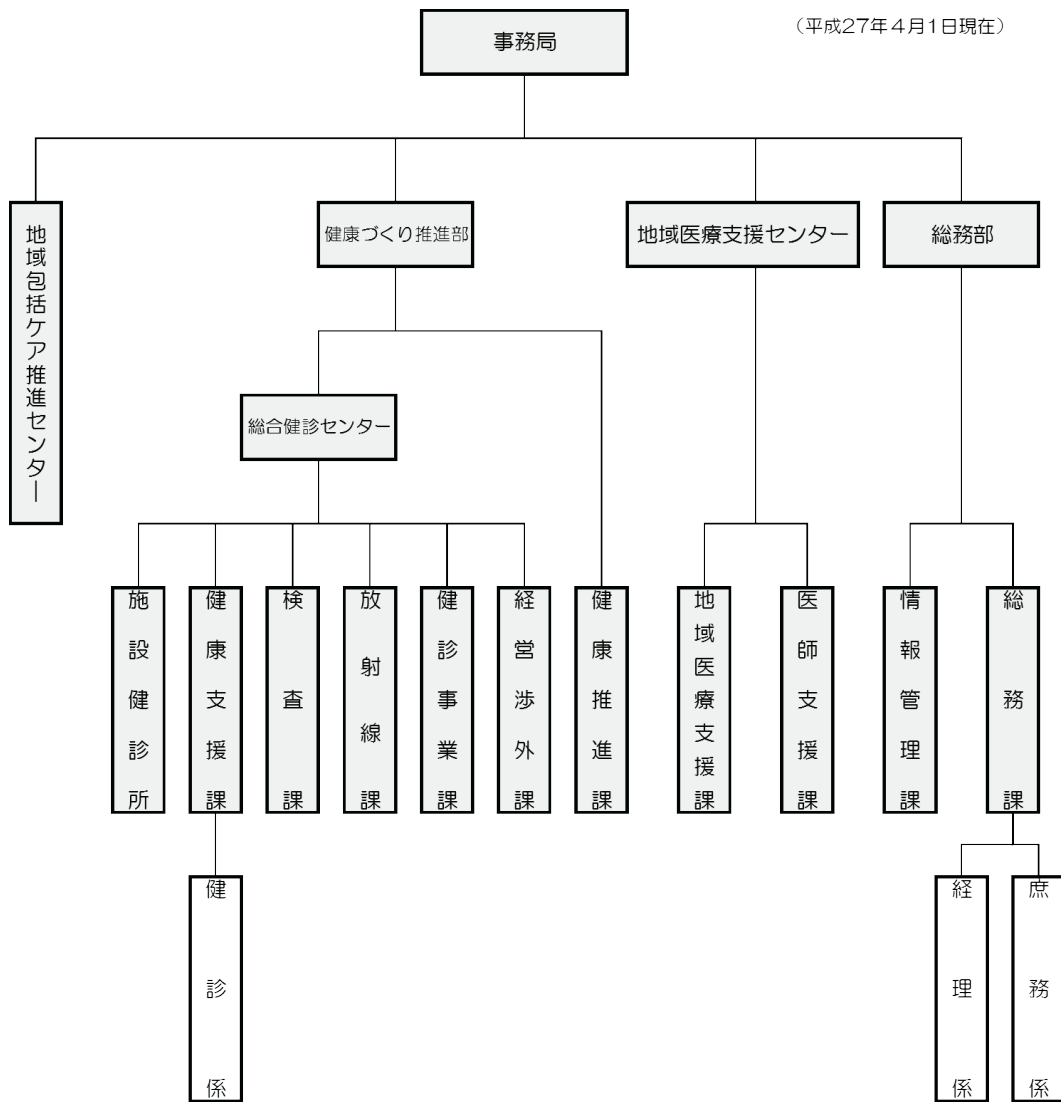
専門委員による討議内容

- ・早急な DR 化への要望
- ・厚生労働省からの指針により視触診の廃止にむけての取り組み
- ・がん追跡調査回収率の向上に対する取り組み

資 料

事務局組織体制

(平成27年4月1日現在)



職員構成

組織区分	職員数 (人)	職名別人数												
		部長	所長 医監	次長	課長 事務長	課長代理 主幹	課長 補佐	係長 専門員	主任	主任技師 主任主事	技師 主事	嘱託 職員	臨時 パート	派遣
事務局	4													
事務局長	1													
事務局次長	2													
統括医監	1													
参与(事務局付)														
総務部	20	(1)		1				1	1	3		1	2	
総務課	8				(1)			1	1	3		1	2	
情報管理課	11				1		1	1	1	1		3	3	
地域医療支援センター	10	(1)	1			1				1	1	1	1	
医師支援課	5				1					1	1	1	1	
地域医療支援課	3				(1)				1		1	1		
健康づくり推進部	87	1												
健康企画課	10				1		1		1	2		5		
総合健診センター	3		1	2										
経営渉外課	13				1	1	1	3		2		4	1	
健診事業課	11				(1)	1	2	1				6	1	
放射線課	17				1		1	2	2	4	2	2	3	
検査課	8				1		1	2		1	1	1	1	
健康支援課	16				1		1	3	3	1		7		
施設健診所	8		1		(1)	1				1		3	2	
地域包括ケア推進センター	12			1				1				1	2	
センター長(非常勤)	1													
副センター長	1													
非常勤	5													
合計	133	1	3	4	7	4	8	14	9	16	5	35	16	0

※ ○ 内は兼務

役員名簿

(平成 27 年 7 月 15 日現在)

●理事（6 名）

役 職 名	所属団体等職名	氏 名	摘 要
会 長	広島大学名誉教授	松 浦 雄 一 郎	
副会長	広島県健康福祉局長	笠 松 淳 也	
//	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授	河 野 修 興	
//	広島県市長会・町村会（廿日市市長）	眞 野 勝 弘	
//	広島県医師会会長	平 松 恵 一	
常務理事	広島県地域保健医療推進機構事務局長	横 山 修 三	

●評議員（10 名）

役 職 名	所属団体等職名	氏 名	摘 要
評議員	広島県歯科医師会会長	荒 川 信 介	
	広島県看護協会会長	才 野 原 照 子	
	広島県社会福祉協議会常務理事	衣 笠 正 純	
	福山・府中地域保健対策協議会長	谷 秀 樹	
	広島県健康福祉局地域包括ケア推進部長	菊 間 秀 樹	
	広島県へき地医療支援機構運営委員会会長・ 県立広島病院長	木 矢 克 造	
	広島県医師会副会長	檜 谷 義 美	
	広島大学病院長	平 川 勝 洋	
	広島県薬剤師会会長	前 田 泰 則	
	広島県町村会長，坂町長	吉 田 隆 行	

●監事（2 名）

役 職 名	所属団体等職名	氏 名	摘 要
監 事	公認会計士	河 野 隆	
	広島県医師会監事	新 本 稔	